



モバイルシアター ユーザーガイド



はじめにお読みください

ユーザーガイドについて

このたびは、モバイルシアターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本製品をお使いになる前に

「クイックスタート」をご覧ください。正しくお取り扱いください。ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

記載内容について

ユーザーガイドでは、基本的にお買い上げ時の状態での操作方法を説明しています。また、特にことわりがない限りホーム画面からの操作を中心に説明しています。操作説明は省略している場合があります。

ディスプレイ表示、キー表示について

ユーザーガイドで記載しているディスプレイ表示は、実際の表示と異なる場合があります。ユーザーガイドで記載しているキー表示は、説明用に簡略化しているため実際の表示とは異なります。

その他の表記について

ユーザーガイドでは、本製品のことを「本機」と表記しています。「microSD™ / microSDHC™ カード」は「SD カード」と表記しています。

知的財産権について

著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的または家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされるときは、著作権法を遵守のうえ、適切にご利用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

- TM and © 2015 Apple Inc. All rights reserved.
Apple は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
-  Bluetooth® Bluetooth® は米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
- Wi-Fi®, WPA™, WPA2™, Wi-Fi Protected Setup™ とそのロゴ、Miracast は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- Google および Google ロゴ、Android、Google Play および Google Play ロゴ、Gmail、YouTube、Google マップ、Google 音声検索、Google+、ハングアウト、Google ウォレット および Google ウォレット ロゴ、Google Apps for Business、Google Chrome は、Google Inc. の商標または登録商標です。

はじめにお読みください

- HDMI と High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC の商標、または登録商標です。
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ZTE、ZTE 中興およびロゴは、ZTE Corporation の中国およびその他の国における商標または登録商標です。Copyright © 2015 ZTE Corporation. All rights reserved.
- SOFTBANK およびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2014 All Rights Reserved.

はじめにお読みください

- Copyright © 2009 The Android Open Source Project
Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>
Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.
See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

その他、本書に記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

目次

はじめにお読みください	2
ユーザーガイドについて	2
知的財産権について	3
ご利用にあたって	11
各部の名称	11
USIM カードについて	14
SD カードについて	18
充電する	20
電源を入れる／切る	21
本機を再起動する	22
画面ロックを解除する	22
初期設定を行う	22
プロジェクターを ON / OFF にする	23
プロジェクターを調整する	24
タッチスクリーンの使いかた	26
ホーム画面の見かた	29
給電する	32
基本的な設定	33
言語と入力の設定	33
日付と時刻の設定	33
通知音の設定	34
その他の音の設定	34
音量の調整	34

マナーモードの設定	35
壁紙の設定	35
画面の明るさ設定	35
暗証番号 (SIM PIN コード/パスワード)	36
画面のロック	38
暗号化	39
基礎知識 / 基本操作	41
主なステータスアイコン	41
主な通知アイコン	42
文字を入力する	45
文字を編集する	52
アプリケーションについて	52
プロジェクター	54
本機に保存したデータを投写する	54
HDMI で接続した機器のデータを投写する	55
USB デバイスのデータを投写する	56
Wi-Fi で接続したスマートフォンのデータを投写する	57
リモコン設定	59
リモコンアプリをインストールする	59
本機とリモコンアプリを接続する	59
ネットワークおよび機器との接続	61
モバイルネットワークで接続する	61
Wi-Fi で接続する	61
Wi-Fi Direct で接続する	67
Bluetooth で接続する	68

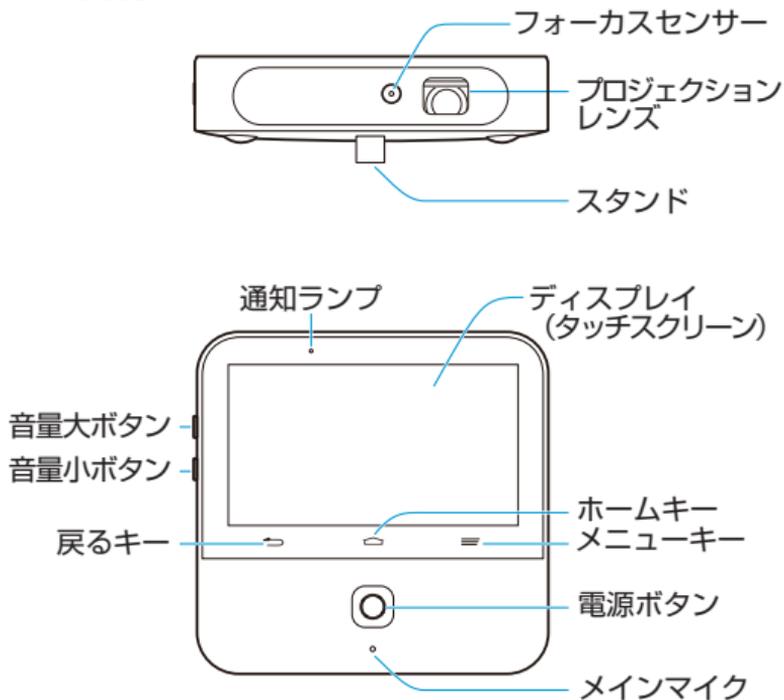
パソコンと USB で接続する	71
USB デバイスを接続する	75
ビデオカメラと接続する	76
モバイル Wi-Fi ルーターとして使用する	77
仮想プライベートネットワーク (VPN) で接続する.....	81
アカウント	83
アカウントの追加と削除をする.....	83
アカウントと同期の設定をする.....	84
Gmail (メール)	86
受信したメールを確認する	86
アカウントを切り替える	86
メールを作成／送信する	86
メールに返信／転送する	87
添付ファイルについて	87
ラベルを利用する.....	88
Gmail の設定を変更する.....	89
Googleマップ.....	90
位置情報サービスを設定する.....	90
現在地を表示する	90
場所を検索する.....	90
ナビを利用する.....	91
付近の便利な情報を取得する.....	92
Google検索.....	93
文字入力で情報を検索する	93
音声で情報を検索する (音声検索).....	93

検索の設定を変更する	93
ギャラリー	94
ギャラリーフォルダを開く	94
アルバムを利用する	94
静止画を見る	95
動画を見る	96
音楽	97
本機に音楽をコピーする	97
保存している音楽を再生する	98
プレイリストを管理する	100
動画	102
動画の再生について	102
動画を管理する	103
音声レコーダー	104
その他のアプリケーション	105
ソフトウェアの更新	105
Chrome を利用する	106
Dolby を利用する	106
ダウンロードを利用する	106
ドライブを利用する	107
ファイル管理を利用する	107
Google+ を利用する	108
ハングアウトを利用する	108
オフィスソフトを利用する	108

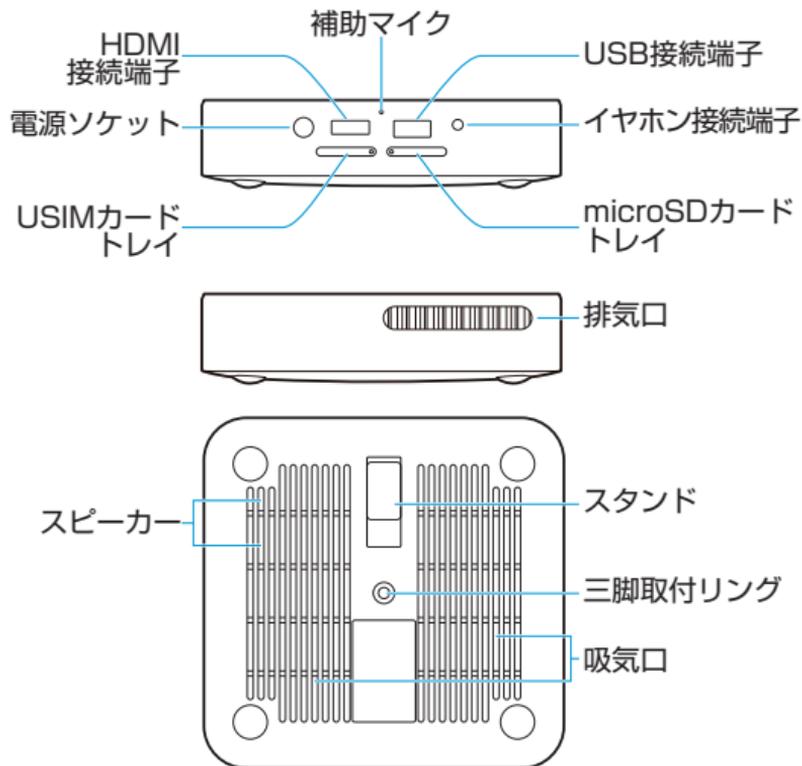
YouTube を利用する.....	108
Netflix を利用する.....	109
パ・リーグ LIVE を利用する.....	109
アニメ放題を利用する.....	109
スマートピを利用する.....	109
ブック放題を利用する.....	110
Google Playストア.....	111
アプリを検索する.....	111
アプリをインストールする.....	111
Google アカウントを利用する.....	112
ダウンロードしたアプリを管理する.....	113
その他の端末設定.....	114
ネットワーク接続について.....	114
デバイス.....	116
一般.....	119
プロジェクターの設定.....	124
困ったときは.....	126
トラブルシューティング.....	126
仕様.....	129
保証とアフターサービス.....	131
お問い合わせ先一覧.....	133

ご利用にあたって

各部の名称



ご利用にあたって



プロジェクションレンズ

映像を投写します。

⚠ 警告！

プロジェクターが ON のときに、プロジェクションレンズを直視したり、人や動物の目に向けないでください。視力低下などの傷害を起こす原因になります。

ご利用にあたって

フォーカスセンサー

投写された映像の鮮明度を分析して自動的にプロジェクターの焦点を合わせます。

戻るキー

タップすると前の画面に戻ります。

ホームキー

- タップするとホーム画面に戻ります。
- 長押し（ロングタッチ）すると Google Apps またはウェブブラウザが開きます。

メニューキー

- タップすると現在の画面のオプションメニューが表示されます。
- ロングタッチすると最近使用したアプリケーションが表示されます。

音量ボタン（音量大ボタン／音量小ボタン）

押して（または長押しして）音量を調節します。

電源ボタン

- 長押しすると、機内モードの ON / OFF、電源の ON / OFF、または本機の再起動のメニュー画面が表示されます。
- 押すと画面表示が ON / OFF します。
- プロジェクターが ON の状態で 2 回すばやく押すと焦点が自動調整されます。

ご利用にあたって

メインマイク／補助マイク

音声を伝えます。補助マイクは周囲の雑音を軽減します。

排気口

プロジェクター使用時の熱を排気します。

警告！

プロジェクターが ON のときに、排気口の近くに物を置いたり、触れたりしないでください。熱によるやけどなどを起こす恐れがあります。

三脚取付リング

三脚を取り付け／取り外します（三脚は製品に同梱されていません）。

USIM カードについて

USIM カードは、お客様の情報などが記憶された IC カードです。

USIM カードのお取り扱い

- 他社製品の IC カードリーダーなどに USIM カードを挿入し故障した場合は、お客様ご自身の責任となり当社は責任を負いかねますのであらかじめご注意ください。
- IC 部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- USIM カードにラベルなどを貼り付けしないでください。故障の原因となります。
- USIM カードのお取り扱いについては、USIM カードに付属している説明書を参照してください。

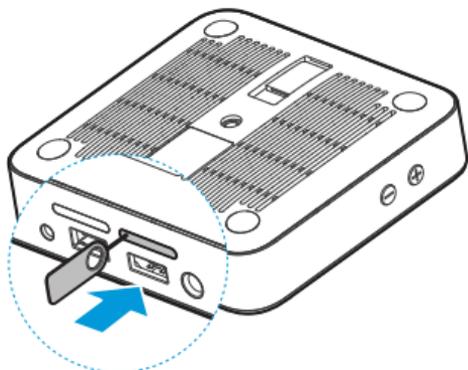
ご利用にあたって

- USIM カードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失・破損による USIM カードの再発行は有償となります。
- 解約などの際は、当社にご返却ください。
- お客様からご返却いただいた USIM カードは、環境保全のためリサイクルされます。
- USIM カードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- お客様ご自身で USIM カードに登録された情報内容は、控えをとっておかれることをおすすめします。登録された情報内容が消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- USIM カードや本機（USIM カード挿入済み）を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。詳しくは、「[お問い合わせ先一覧](#)」までご連絡ください。
- USIM カードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。

USIM カードを取り付ける

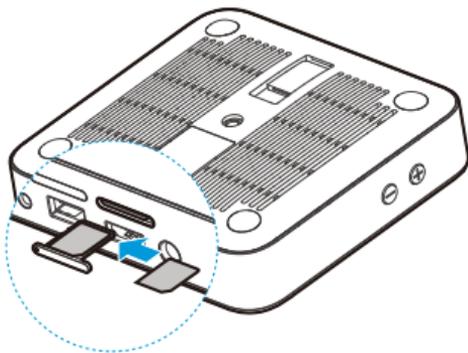
必ず電源を切った状態で行ってください。

1. 本機を裏返した状態で、USIM カードトレイの穴に USIM・MicroSD カードトレイ抜挿ツール（試供品）の先端を差し込む

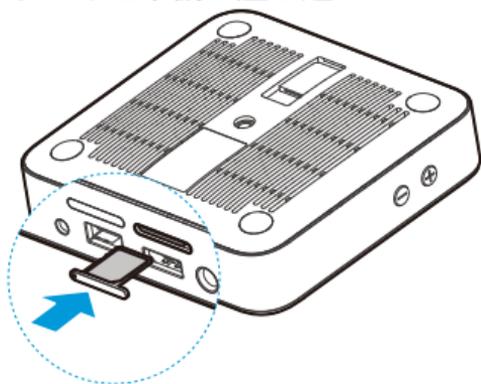


USIM カードトレイが少し飛び出してきたら、ゆっくりと水平に引き抜いてください。

2. USIM カードの IC 部分を下にして、USIM カードトレイにはめこむ



3. USIM カードトレイを本機に差し込む



USIM カードトレイは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。

USIM カードを取り外す

必ず電源を切った状態で行ってください。

1. 本機を裏返した状態で、USIM カードトレイの穴に USIM・MicroSD カードトレイ抜挿ツール（試供品）の先端を差し込む

USIM カードトレイが少し飛び出てきたら、ゆっくりと水平に引き抜いてください。

2. USIM カードをトレイから取り外す
3. USIM カードトレイを本機に差し込む

USIM カードトレイは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。

SD カードについて

本機では、本体メモリとSDカードにデータを保存できます。本機は最大64GBまでのSDカードに対応しています。ただし、すべてのSDカードの動作を保証するものではありません。(SDカードは製品に同梱されていません。)

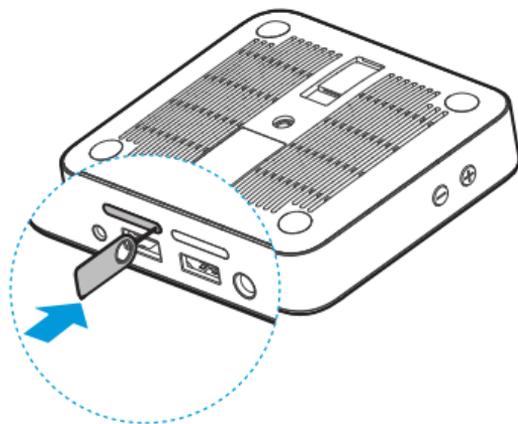
補足

- SDカードの記録内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておくことをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- アプリケーションにはデータ保存のためSDカードが必要な場合があります。SDカードは取り付けた状態にしておくことをおすすめします。
- データの読み込み中や書き込み中は、絶対に本機の電源を切らないでください。
- バッテリーの残量が少ないとデータの読み込みや書き込みができない場合があります。
- SDカードは、小さなお子様の手の届かないところで保管／使用してください。誤って飲み込むと窒息する恐れがあります。

SD カードを取り付ける

必ず電源を切った状態で行ってください。

1. 本機を裏返した状態で、microSD カードトレイの穴に USIM・MicroSD カードトレイ抜挿ツール（試供品）の先端を差し込む



microSD カードトレイが少し飛び出してきたら、ゆっくりと水平に引き抜いてください。

2. SD カードの IC 部分を下にして、microSD カードトレイにはめこむ
3. microSD カードトレイを本機に差し込む
microSD カードトレイは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。

SD カードを取り外す

SD カードを取り外す前にマウントを解除する必要があります。
「SD カードのマウントを解除する」を参照してください。

必ず電源を切った状態で行ってください。

1. 本機を裏返した状態で、microSD カードトレイの穴に USIM・MicroSD カードトレイ抜挿ツール（試供品）の先端を差し込む
microSD カードトレイが少し飛び出してきたら、ゆっくりと水平に引き抜いてください。
2. SD カードを microSD カードトレイから取り外す
3. microSD カードトレイを本機に差し込む
microSD カードトレイは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。

充電する

お買い上げ時は、内蔵バッテリーが十分に充電されていません。

警告！

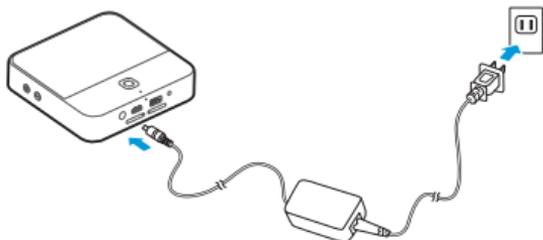
指定の AC アダプタとケーブルを使用してください。指定以外の機器を使用すると本機が破損する恐れがあります。

注意

本機の内蔵バッテリーを取り外したり、交換したりしないでください。故障の原因となります。

AC アダプタで充電する

1. AC アダプタを本機の電源ソケットに差し込み、プラグをコンセントに差し込む



バッテリーの充電が完了したらACアダプタを取り外してください。

✎ 補足

バッテリーの残量が極端に少ない場合、充電中であっても本機の電源が入らないことがあります。しばらく充電してから電源を入れなおしてください。長時間充電しても電源が入らない場合は、「お問い合わせ先一覧」にご連絡ください。

電源を入れる／切る

バッテリーが充電されていることを確認してください。

- 電源を入れるには、電源ボタンを長押しします。
- 電源を切るには、電源ボタンを長押ししてメニューを表示してから「電源を切る」→「OK」をタップします。

本機を再起動する

本機がフリーズしたり、応答が非常に遅くなった場合は、電源ボタンを約 10 秒間押して本機を再起動してください。

画面ロックを解除する

本機は一定時間使用されていないと自動的にスリープモードになります。タッチスクリーンの表示が消え、誤操作防止のためにキーがロックされます。

次の手順でロックを解除することができます。

1. 電源ボタンを押してタッチスクリーンを ON
2. 画面をロングタッチしてロックを解除

補足

本機にロック解除用のパターンまたは PIN / パスワードを設定した場合は（「[画面のロック](#)」を参照）、ロックを解除するときにパターンの描画または PIN / パスワードの入力が必要です。

初期設定を行う

本機をお買い上げ後、初めて電源を入れたときや、本機を初期化したときは（「[バックアップとリセット](#)」を参照）、使用する前に初期設定が必要です。

言語欄をフリックして言語を選択して ▶ をタップします。その後は、画面の指示に従って Wi-Fi、Google アカウント、Google ロケーションなどを設定してください。

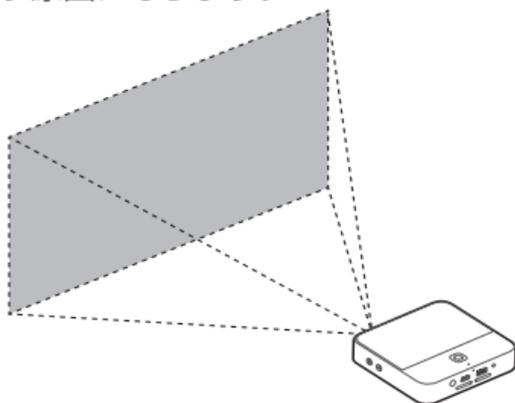
ご利用にあたって

プロジェクターを ON / OFF にする

本機に内蔵されているプロジェクターを使用して画面を大きなスクリーンに投写することができます。

警告！

プロジェクターが ON のときに、プロジェクションレンズを直視したり、人や動物の目に向けないでください。視力低下などの傷害を起こす原因になります。



フリックして ON / OFF にする

本機の画面が開いているときに、画面上を 3 本の指で上か下にフリックしてプロジェクターを ON または OFF にできます。

通知パネルで ON / OFF にする

ステータスバーを画面の上から下にドラッグして「投影 ON / OFF」をタップします。

ご利用にあたって

ホーム画面で ON / OFF にする

ホーム画面の「プロジェクター」ウィジェットの丸いボタンをタップします。

設定画面で ON / OFF にする

ホーム画面で「設定」→「プロジェクター」→「コントロール」→「プロジェクター」の横のスイッチをドラッグします。

補足

反射しない白く平らな面に向けて、本機を 90° の角度に設置します。投写距離は約 62 ~ 441cm です。

プロジェクターを調整する

プロジェクターが ON のときに、プロジェクターの焦点、台形ひずみ、明るさ、色調を調整できます。

焦点を調整する

1. ホーム画面で「設定」→「プロジェクター」→「画像」
2. 「フォーカス」の「自動」を ON にするか、「+」と「-」をタップして「手動」で調整

補足

電源ボタンをすばやく 2 回押すと、焦点が自動調整されます。

台形ひずみを調整する

投写画面の上下方向のひずみを調整して補正できます。

1. ホーム画面で「設定」→「プロジェクター」→「画像」
2. 「台形補正」の「自動」をONにするか、「+」と「-」をタップして「手動」で調整

明るさを調整する

1. ホーム画面で「設定」→「プロジェクター」→「画像」
2. 「明るさ」のレベルを選択

色調を調整する

1. ホーム画面で「設定」→「プロジェクター」→「画像」
2. 「色補正」で色調を選択

タッチスクリーンの使いかた

本機のディスプレイを直接指で触れて操作できます。

- **タップ**
ディスプレイのキーボードで文字を入力したり、ボタン、アプリケーション、設定アイコンなどを選択したりする場合に、指で軽く触れてすぐに指を離します。



- **ロングタッチ**
オプションメニューを表示する場合など、画面に軽く触れたまま、しばらくそのままにします。

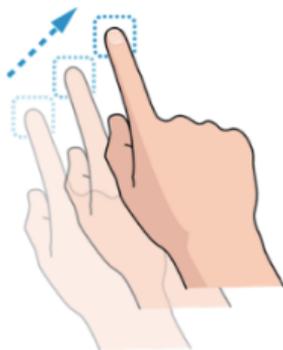


ご利用にあたって

- フリック
画面上で上下左右にすばやく指をはじきます。



- ドラッグ
ロングタッチしたまま指を移動します。ドラッグ中は目的の位置まで指をディスプレイから離さないでください。



- **ピンチ**
2つの指を同時にディスプレイ上に置き、距離を狭めたり（ズームアウト）広げたり（ズームイン）します。



- **画面の回転**
画面により表示方向を自動的に横向きから縦向きにできます。

 **補足**

画面方向を自動的に変更するには「画面の自動回転」を設定します。

ホーム画面で「設定」→「システム」→「デバイス」→「ディスプレイ」→「画面の自動回転」をタップしてください。通知パネルを開いて「自動回転」をタップしても設定できます。

ホーム画面の見かた

ホーム画面は本機のアプリケーション、機能、メニューを使用するとき最初に表示される画面です。タブ、フォルダ、アプリケーションショートカットなどを追加／削除して、ホーム画面をカスタマイズできます。

プロジェクターウィジェット タブ



ホーム画面の見かた

ホーム画面には複数のタブがあります。

- タブをタップすると内容が表示されます。
- 「アプリ」をタップするとすべてのアプリケーションが表示されます。
- 「アプリ」以外のタブをタップするとアプリケーションショートカット、フォルダ、ウィジェットが表示されます。
- ウィジェットで、必要な機能をホーム画面から直接管理できます。

ホーム画面をカスタマイズする

タブを追加する：

 をタップします。

タブを編集する：

タブをロングタッチして  をタップすると、タブと内容が削除されます。また、タブをロングタッチしてタブ名を変更することができます。

 補足

「ホーム」、「設定」および「アプリ」は編集できません。

アプリケーションショートカットを追加する

1. 「アプリ」内、または、他のタブ内のアプリケーションショートカットをロングタッチ
2. 移動したいタブ名にドラッグ
画面上にタブの内容が表示されます。
3. タブ内の空いている場所にドラッグ

アプリケーションショートカットを削除する

1. 「アプリ」以外のタブでアプリケーションショートカットをロングタッチ
2. 画面下の  (削除) までドラッグ

フォルダでショートカットを整理する

1. 「アプリ」以外のタブでアプリケーションショートカットをロングタッチ
2. 画面下の **+**（新しいフォルダ）にドラッグ
新しいフォルダが作成されアプリケーションショートカットがフォルダに移動します。
他のアプリケーションショートカットをフォルダに移動するとき
は、アプリケーションショートカットをロングタッチし、新しいフォルダにドラッグします。

補足

アプリケーションショートカットをフォルダから削除するときは、フォルダをタップして内容を表示してから、削除したいアプリケーションショートカットをロングタッチし、フォルダの外までドラッグします。

フォルダ名を変更する

1. フォルダをタップ
2. フォルダ内のアイコンの上に表示されているフォルダ名を2回タップ
3. 新しい名前を入力して「完了」をタップするか、フォルダの外をタップ
名前が保存されます。

ご利用にあたって

アプリケーションをアンインストールする

1. ホーム画面で「アプリ」内のアプリケーションショートカットをロングタッチ
2. アンインストールしたいアプリケーションの  をタップ
3. 「OK」

補足

アンインストールできないアプリケーションがあります。

給電する

USB ケーブルを接続して本機から外部機器に給電できます。
(USB ケーブルは製品に同梱されていません。)

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「デバイス」
2. 「USB モード」→「USB 機器に接続」
3. USB ケーブルで本機と外部機器を接続
給電を開始します。

補足

給電出力は 1A です。

基本的な設定

言語と入力の設定

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「一般」→「言語と入力」→「言語」
2. 言語を選択

日付と時刻の設定

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「一般」→「日付と時刻」
2. 日付、時刻、タイムゾーン、日付と時刻のフォーマットを設定
 - ▶ 自動的に日付と時刻を調整する
「日付と時刻の自動設定」のチェックボックスを ON にします。
 - ▶ 手動で日付と時刻を調整する
「日付と時刻の自動設定」のチェックボックスを OFF にし、「日付設定」／「時刻設定」をタップして日付と時刻を変更します。
 - ▶ 自動的にタイムゾーンを調整する
「タイムゾーンの自動設定」のチェックボックスを ON にします。

基本的な設定

- ▶ 手動でタイムゾーンを調整する
「タイムゾーンの自動設定」のチェックボックスを OFF にし、「タイムゾーンの選択」をタップしてタイムゾーンを修正します。
- ▶ 日付と時刻のフォーマットを調整する
「24時間表示」または「日付形式の選択」をタップします。

通知音の設定

デフォルトの通知音を変更できます。

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「デバイス」→「音」
2. 「デフォルトの通知音」
3. 使用したいサウンドを選択して「OK」

その他の音の設定

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「デバイス」→「音」
2. 「タッチ操作音」、「画面ロックの音」、または「タッチ操作バイブ」の各チェックボックスを ON または OFF

音量の調整

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「デバイス」→「音」→「音量」
2. 各種オーディオのスライダーをドラッグして音量を調整
3. 「OK」

マナーモードの設定

次の方法でマナーモードを設定できます。

- ホーム画面で「設定」→「システム」→「デバイス」→「音」→「音の設定」→「OFF」をタップします。
- 「メディア」のアプリケーションを起動しているときに音量小ボタンを押し続けます。ステータスバーに  が表示されているときはマナーモードが設定されています。

壁紙の設定

ロック画面に壁紙を設定することができます。

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「デバイス」→「ディスプレイ」→「壁紙」
2. 「ギャラリー」または「壁紙」をタップし、画像を選択
ギャラリーの画像はトリミングが必要な場合があります。

画面の明るさ設定

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「デバイス」→「ディスプレイ」→「明るさ」
2. スライダーをドラッグして画面の明るさを調整

暗証番号（SIM PIN コード／パスワード）

- 暗証番号はお忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、「お問い合わせ先一覧」までご連絡ください。
- 暗証番号は、他人に知られないようにご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 入力を間違えると、ロック状態になります。ご注意ください。詳しくは、「お問い合わせ先一覧」までご連絡ください。

SIM PIN コードについて

！ 注意

- SIM PIN コードは第三者による本機の無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。
- SIM PIN コードを有効にしている場合は、電源を入れたときにSIM PIN コードを入力しないと本機を使用することができません。
- SIM PIN コードは変更できます。
- お買い上げ時、SIM PIN コードは「9999」に設定されています。
- SIM PIN コードの入力を3回間違えると、SIM PIN ロック状態になります。その際は、SIM PIN ロック解除コード（PUK コード）が必要となります。SIM PIN ロック解除コードについては、「お問い合わせ先一覧」までご連絡ください。

基本的な設定

- PUK コードを 10 回間違えると、USIM カードがロックされ、本機が使用できなくなります。その際には、ソフトバンクショップにて USIM カードの再発行（有償）が必要になります。

SIM PIN コードを有効にする

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「一般」
2. 「セキュリティ」→「SIM カードロック設定」→「SIM カードをロック」
3. SIM PIN コードを入力 → 「OK」
SIM PIN コードを有効にしているときに、「SIM カードをロック」のチェックボックスを OFF にすると SIM PIN コードが無効になります。

SIM PIN コードを変更する

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「一般」
2. 「セキュリティ」→「SIM カードロック設定」→「SIM PIN の変更」
3. 現在の SIM PIN コードを入力 → 「OK」
4. 新しい SIM PIN コードを入力 → 「OK」 → 確認のためにもう一度新しい SIM PIN コードを入力 → 「OK」

画面のロック

画面ロックを使用して本機を保護することができます。画面ロックが設定されている場合、画面とキーのロックを解除するには画面を長押し（ロングタッチ）する、パターンを描く、または PIN（暗証番号）／パスワードを入力する必要があります。

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「一般」→「セキュリティ」→「画面のロック」
2. 「長押し」、「パターン」、「PIN」、または「パスワード」を選択
 - 「長押し」
ロングタッチによりロック解除ができるようになります。ロックを解除するには画面上のステータスバー以外の場所をロングタッチします。
 - 「パターン」
画面のロックを解除するときに描くパターンを作成します。
 - 「PIN」または「パスワード」
画面のロックを解除するときに入力する PIN（暗証番号）またはパスワード設定します。

暗号化

本機内のデータを暗号化することができます。対象は Google アカウント、アプリケーションデータ、音楽などのデータ、ダウンロードした情報などです。暗号化した場合は、本機に電源を入れるたびに PIN（暗証番号）またはパスワードの入力が必要になります。

警告！

暗号化したデータは元に戻すことはできません。本機の暗号化を解除するには、「データの初期化」を実行して本機内のデータを消去する必要があります。

暗号化の事前準備

- 画面ロックの PIN またはパスワードを設定します。
- バッテリーを充電します。
- 本機を AC アダプタに接続します。
- 暗号化作業のために 1 時間以上の時間を確保してください。途中で中断すると一部またはすべてのデータが失われます。

暗号化

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「一般」→「セキュリティ」→「端末の暗号化」
2. 暗号化に関する説明を確認

バッテリーの残量が不十分、または、AC アダプタが本機に接続されていない場合は、「携帯端末を暗号化」を選択できません。暗号化を中止する場合は、戻るキーをタップします。

 **警告！**

暗号化を実行中に中断すると一部またはすべてのデータが失われます。

3. 「携帯端末を暗号化」

4. 画面ロック用の PIN またはパスワードを入力→「次へ」

5. 「携帯端末を暗号化」

暗号化処理が開始されます。処理には 1 時間以上かかります。暗号化処理の間、本機が数回再起動する場合があります。

暗号化が終了すると PIN またはパスワードの入力画面が表示されます。

暗号化が完了すると電源を入れるたびに、データを復号するために PIN またはパスワードの入力が必要になります。

基礎知識／基本操作

主なステータスアイコン

ホーム画面上部のステータスバー右側にステータスアイコンが表示されます。主なアイコンは次のとおりです。

	4G LTE 接続中		USIM カード未挿入
	モバイルデータ使用中		電波なし
	バッテリー残量が少ない		電波強度
	バッテリー残量が多い		機内モード設定中
	充電中		Bluetooth が ON
	バッテリー満充電		Wi-Fi ネットワーク接続中
	マナーモード設定中		Wi-Fi 使用中
	有線ヘッドセット接続中		

主な通知アイコン

通知アイコン

ホーム画面上部のステータスバー左側に通知アイコンが表示されます。主なアイコンは次のとおりです。

	新着メールあり		新しい Wi-Fi ネットワークを検出
	音楽再生中		USB テザリングが ON
	USB デバイスの取り出し		LAN Wi-Fi が有効
	USB デバイス接続中		データダウンロード中
	SD カードマウント解除済み		データ送信中
	USB 接続中		

通知パネルを開く／閉じる

通知機能により音楽再生中などに Gmail の新着メールや各種の受信情報が表示されます。通知パネルを開いて受信した詳細を確認できます。

- 通知パネルを開くには画面を上から下にフリックします。
- 通知パネルを閉じるには画面を下から上にフリックするか、戻るキーをタップします。

通知パネルの使いかた

通知パネルで通知内容を確認したり、確認した通知を消去したりできます。また、直接操作できる通知もあります。

- 確認したい通知をタップします。
- 画面に表示しきれない通知を開くには、上下にフリックします。ピンチでズームアウト／ズームインして、特定の通知を開いたり閉じたりできます。
- 通知を削除するには左右いずれかにフリックします。
- すべての通知を削除するには右上の ⊗ をタップします。
- 通知をロングタッチし、「アプリ情報」をタップすると該当のアプリケーションが表示されます。そのアプリケーションからの通知を停止する場合は、アプリ情報画面の「通知を表示」のチェックボックスを OFF にします。
- Gmail など、通知を表示するアプリケーションでは、通知パネルへ表示するかどうかを設定できます。

補足

アプリケーションの通知を OFF にすると、そのアプリケーションの重要な警告や更新情報を入手できないことがあります。アプリケーションの中には通知を OFF にできないものもあります。

コントロールスイッチについて

通知パネルのコントロールスイッチで、表示するスイッチを設定、変更できます。

通知パネルを開くと画面上部に次のコントロールスイッチが表示されます。左または右にフリックしてすべてのスイッチを確認できます。

- **投影 ON / OFF:** プロジェクターを ON / OFF にできます。
- **投影時の明るさ:** プロジェクターの明るさを調整できます。
- **HDMI:** 青字表示のとき、HDMI ケーブルでノートパソコンや TV STB (セットトップボックス) を接続して映像を投写できます。
- **Miracast:** Miracast を ON / OFF にできます。
- **USB 機器に接続:** 青字表示のとき、USB デバイスに接続できます。
- **PC に接続:** 青字表示のとき、パソコンと接続して USB ケーブル経由でファイルをやり取りできます。
- **Wi-Fi:** Wi-Fi を ON / OFF にできます。
- **Bluetooth:** Bluetooth を ON / OFF にできます。
- **LAN Wi-Fi:** Wi-Fi アクセスポイントを ON / OFF にできます。
- **機内:** 機内モードを ON / OFF にできます。
- **データ通信 ON / OFF:** モバイルネットワークのデータサービスを ON / OFF にできます。
- **目の保護:** プロジェクターの目の保護機能を ON / OFF にできます。
- **自動回転:** 画面の自動回転機能を ON / OFF にできます。

補足

- 「コントロールスイッチ」の横の「編集」をタップして、通知パネルに表示するスイッチを選択できます。
- 通知パネルで右上の  をタップするとシステム設定のメニューが開きます。  をタップするとプロジェクター設定のメニューが開きます。

文字を入力する

ディスプレイのキーボードを使用して文字を入力できます。入力するときは自動的にキーボードが表示されます。表示されない場合は、入力したい箇所をタップします。キーボードを閉じるには戻るキーをタップします。

入力方法を変更する

キーボードで文字入力しているときは、ステータスバーにアイコン  が表示されます。

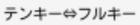
1. 通知パネルを開き「入力方法の選択」
2. 入力方法を選択→「入力方法をセットアップ」

入力言語を設定する

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「一般」→「言語と入力」
2. 「デフォルト」→デフォルトの入力言語を選択
3. 「入力方法をセットアップ」

日本語を入力する場合

日本語入力のキーボードには、1つのキーに複数の文字が割り当てられている「テンキーキーボード」と、1つのキーに1つの文字が割り当てられている「フルキーキーボード」があります。

- 「テンキーキーボード」と「フルキーキーボード」を切り替えるには、キーボード表示中に  をロングタッチして  をタップしてください。
- キーボードを閉じるときは、「戻るキー」をタップします。



テンキーキーボードの見かた

初期画面



番号	機能
①	入力方法を切り替えます。
②	テキストカーソルを左に移動します。
③	記号を入力します。
④	ひらがな漢字／英字／数字の入力を切り替えます。
⑤	音声入力します。
⑥	読点や句点を入力します。
⑦	1つ前の文字を削除します。
⑧	テキストカーソルを右に移動します。
⑨	スペースを入力します。
⑩	改行します。

文字入力中

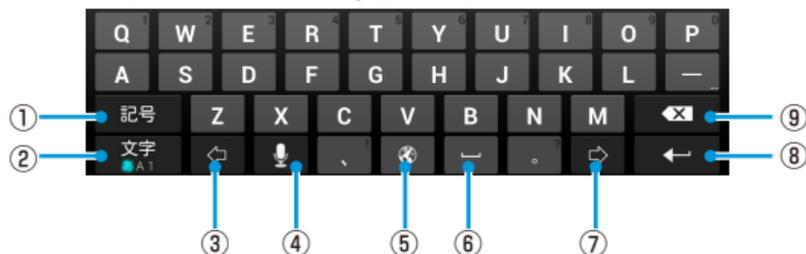


番号	機能
①	文字を確定前に戻します。また、文字確定前は同じキーに割り当てられた文字を逆の順序で表示します。
②	英数／カナ変換を切り替えます。
③	濁点／半濁点、大小文字変換を切り替えます。
④	確定前の文字を変換します。
⑤	変換を確定します。

 補足

 をロングタッチすると設定メニューが表示されます。

フルキーボードの見かた



番号	機能
①	記号を入力します。
②	ひらがな漢字／英字／数字の入力を切り替えます。
③	テキストカーソルを左に移動します。
④	音声入力します。
⑤	入力方法を切り替えます。
⑥	スペースを入力します。
⑦	テキストカーソルを右に移動します。
⑧	改行します。
⑨	1 つ前の文字を削除します。

英語を入力する場合

- 文字を入力するにはアルファベットキーをタップします。特定のキーをロングタッチして、関連するマーク付きの文字や数字を入力できます。たとえば **e** をロングタッチすると、関連するマーク付き文字と数字の「3」が表示されます。「è」の方向にフリックするとその文字を入力できます。
- 大文字を入力するには **⇧** をタップします。大文字固定にするには **⇧** を2回タップします。大文字入力か小文字入力かを確認できます。**⇧** の場合は小文字、**⇩** の場合は大文字、**⇩⇧** の場合は大文字固定です。
- ✕** をタップするとカーソルの前の文字が消去されます。
- ?123** をタップすると数字や記号を入力できます。さらに **=\<** をタップすると記号が表示されます。
- 🗎** をロングタッチすると入力言語の変更、キーボードの設定ができます。



文字種（入力モード）を切り替える

1. 文字入力画面で  をロングタッチ
2. 「入力モード切替」→入力モードを選択

フリック入力について

テンキーキーボードで入力するとき、キーを上下左右にフリックすることで、キーを繰り返しタップすることなく、入力したい文字を入力できます。キーに触れると、フリック入力が入力できる候補が表示されます。入力したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字が入力されます。「あ」行を入力する方法を例に説明します。

1.  を上下左右にフリック



補足

- フリックした方向の文字が入力されます。
- 「あ」を入力するときは、 を1回タップします。

文字を編集する

- **入力箇所を移動する**：入力したい箇所をタップするとカーソルが点滅し、カーソルの位置を示すマークが表示されます。カーソルを移動するにはマークをドラッグします。
- **文字列を選択する**：文字列内でロングタッチまたは2回タップします。
単語または文字が選択され、選択箇所の両端にそれぞれマークが表示されます。マークをドラッグすると選択範囲を変更できます。
- **切り取り／コピーする**：文字列を選択し、「切り取り」または「コピー」をタップします。
- **文字列をクリップボードの文字列と入れ替える**：入れ替えたい文字列を選択し、「貼り付け」をタップします。
- **クリップボードの文字列を挿入する**：挿入箇所にカーソルを移動してカーソルの下をロングタッチします。指を離してから「貼り付け」をタップします。

アプリケーションについて

アプリケーションを起動する

1. ホーム画面で「アプリ」
2. 画面上で左右にフリックして、アプリケーションをタップ

最近使用したアプリケーションを起動する

1. メニューキーをロングタッチ

最近使用したアプリケーションが、アイコン、サムネイル、およびアプリケーション名で表示されます。使用したアプリケーションの数が多く画面内に収まらない場合は、左右にフリックして表示します。

2. サムネイルをタップ

アプリケーションが開きます。

補足

サムネイルを上または下にフリックするとリストから削除されます。また「すべて削除」をタップするとすべてのアプリケーションがリストから削除されます。

プロジェクター

本機のプロジェクターを使用して本機や本機に接続した機器のデータを投写することができます。

警告！

プロジェクターが ON のときに、プロジェクションレンズを直視したり、人や動物の目に向けないでください。視力低下などの傷害を起こす原因になります。

本機に保存したデータを投写する

本機に保存したデータを投写することができます。

1. 投写したいデータを開く（画像データ）

ホーム画面で「アプリ」→「ギャラリー」→アルバムをタップ→画像をタップしてフルスクリーンで表示します。

2. プロジェクターを ON

「プロジェクターを ON / OFF にする」を参照してください。

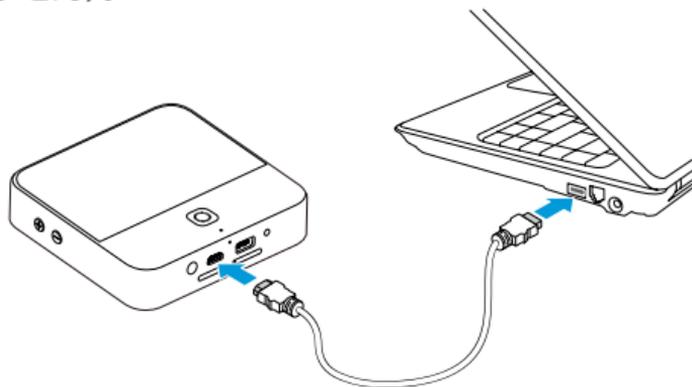
3. 本機を平らな場所に置き、投写距離を調整

補足

- 電源ボタンをすばやく 2 回押すと、焦点が自動調整されます。
- 12 時間連続で投写した場合や、本体が高温になった場合は、投写が自動的に OFF になります。

HDMI で接続した機器のデータを投写する

本機に HDMI ケーブルでノートパソコン／パソコンや TV STB（セットトップボックス）を接続してデータを投写できます。Lightning コネクターで接続する Apple 製品の場合は Lightning-Digital AV アダプタが必要です（製品には同梱されていません）。



1. 同梱の HDMI ケーブルで本機とノートパソコン／パソコンまたは TV STB を接続
(ノートパソコン／パソコンと TV STB は製品には同梱されていません。)
Lightning コネクターで接続する Apple 製品の場合は、Lightning-Digital AV アダプタを使用して機器を HDMI ケーブルに接続してから HDMI ケーブルを本機に接続します。
2. プロジェクターを ON
「[プロジェクターを ON / OFF にする](#)」を参照してください。
3. 通知パネルを開き「HDMI」をタップ
「HDMI」スイッチが青字表示になります。

4. ノートパソコン／パソコン、TV STB、または Apple 製品で表示したいデータを選択

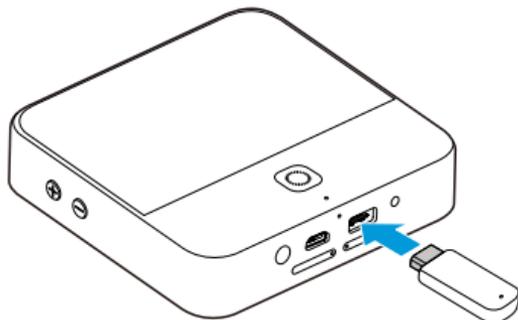
補足

他の種類の出力ポート（VGA ポート、DVI ポート、DisplayPort、Mini DisplayPort など）があるノートパソコン／パソコンの場合は、対応したアダプタで接続してください。

- 本機がサポートする HDMI の最大解像度は 1080p（1920 × 1080 ピクセル）です。HDMI 経由で映像を投写する場合の最大解像度は 720p（1280 × 720 ピクセル）です。
- 電源ボタンをすばやく 2 回押すと、焦点が自動調整されます。

USB デバイスのデータを投写する

USB フラッシュドライブやポータブルハードディスクドライブなどの USB デバイスに保存されたデータを投写することができます。



1. 通知パネルを開き、（USB 機器に接続）の青字表示を確認
2. USB デバイスを本機の USB 接続端子に接続

3. ホーム画面で「アプリ」→「ファイル管理」

4. 「USB デバイス」→投写したいデータをタップ

5. プロジェクターを ON

「プロジェクターを ON / OFF にする」を参照してください。

補足

- USB デバイスを本機から取り外すときは、通知パネルを開いて  (USB デバイスの取り出し) をタップしてください。USB デバイスのマウント解除済みのアイコンが表示されたら、USB デバイスを取り外すことができます。
- 本機がサポートするポータブルハードディスクドライブの最大容量は 2TB、USB フラッシュドライブの最大容量は 64GB です。
- 電源ボタンをすばやく 2 回押すと、焦点が自動調整されません。

Wi-Fi で接続したスマートフォンのデータを投写する

互換性のあるスマートフォンのデータを Miracast (Wi-Fi ディスプレイ) リンク経由で投写できます。



プロジェクター

1. プロジェクターを ON
「[プロジェクターを ON / OFF にする](#)」を参照してください。
2. 通知パネルを開き「Miracast」をタップ
「Miracast」スイッチが青字表示になります。
3. スマートフォンの接続機能で周辺の機器を検索
4. 周辺機器の表示エリアに本機の名前「モバイルシアター」が表示されたらタップ
スマートフォンは自動的に本機と接続されます。
5. 本機で「許可」をタップ
接続が成功すると、スマートフォン内のデータをプロジェクターに表示できるようになります。
6. スマートフォンで表示したいデータを選択

補足

- Miracast リンクを終了するには本機で戻るキーをタップします。
- 電源ボタンをすばやく 2 回押すと、焦点が自動調整されず。

リモコン設定

Android™ または iOS 端末に本機のリモコンアプリをインストールして、本機のリモコンとして使用できます。

リモコンアプリをインストールする

1. 本機のホーム画面で「設定」
2. Android または iOS 端末で本機画面の QR コード（クイックレスポンスコード）をスキャンして、本機のリモコンアプリを検索
3. リモコンアプリをダウンロードして端末にインストール

本機とリモコンアプリを接続する

リモコンアプリを使用する前に、Android または iOS 端末を Wi-Fi で本機に接続する必要があります。次の方法で使用できます。

LAN Wi-Fi を利用する

1. 本機のホーム画面で「設定」→「プロジェクター」→「コントロール」→「リモコン」を ON
2. 本機の LAN Wi-Fi を ON
「LAN Wi-Fi で接続する」を参照してください。
3. Android または iOS 端末を本機に接続
4. 端末のリモコンアプリを起動
本機への接続が開始されます。

5. 本機で「OK」(本機の電源を入れてから初めて接続する場合) 接続を許可します。接続が完了すると本機の画面の内容が端末に表示され、リモコンとして使用できます。
- ▶ 本機を操作するには端末の画面をタップします。
 - ▶ リモコンアプリの画面の 、、 を本機の戻るキー、ホームキー、メニューキーとして使用してください。
 - ▶  をタップすると本機のプロジェクターが ON になる、またはプロジェクター設定メニューが表示されます。

Wi-Fi ネットワークで接続する

1. 本機のホーム画面で「設定」→「プロジェクター」→「コントロール」→「リモコン」を ON
 2. Android または iOS 端末と本機を同じ Wi-Fi ネットワーク (屋内の無線ルーターなど) に接続
「Wi-Fi で接続する」を参照してください。
 3. 端末のリモコンアプリを起動
本機への接続が開始されます。
 4. 本機で「OK」(本機の電源を入れてから初めて接続する場合) 接続を許可します。接続が完了すると本機の画面の内容が端末に表示され、リモコンとして使用できます。
- ▶ 本機を操作するには端末の画面をタップします。
 - ▶ リモコンアプリの画面の 、、 を本機の戻るキー、ホームキー、メニューキーとして使用してください。
 - ▶  をタップすると本機のプロジェクターが ON になる、またはプロジェクター設定のメニューが表示されます。

ネットワークおよび機器との接続

モバイルネットワークで接続する

モバイルデータ通信を設定する

データアクセスを有効または無効にする

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「モバイルネットワーク」
2. 「データ通信を有効にする」のチェックボックスを ON
モバイルネットワークでのデータアクセスが有効になります。
チェックボックスを OFF にするとデータアクセスが無効になります。

常時データアクセスを有効にする

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「モバイルネットワーク」
2. 「モバイルデータを常時 ON」のチェックボックスを ON
アプリケーションが自動的にデータを更新するようになります。

！ 注意

「モバイルデータを常時 ON」を有効にすると、アプリケーションデータが自動更新されるためにデータ通信が増え、本機のバッテリー消費量が増加します。

Wi-Fi で接続する

Wi-Fi とは最長 100m の範囲でインターネットアクセスができる無線ネットワーク技術です。通信距離は Wi-Fi ルーターと環境条件に影響されます。

Wi-Fi ネットワークに接続する

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「Wi-Fi」
2. 「Wi-Fi」を ON
3. 接続先のネットワーク名をタップ
4. ネットワークがセキュリティ機能により保護されている場合は、パスワードを入力→「接続」

補足

以前に使用した Wi-Fi ネットワークが接続範囲内にある場合、そのネットワークに自動的に接続されます。

補足

WPS をサポートする Wi-Fi ルーターに接続するには、本機の Wi-Fi メニューの  をタップしてからルーターの WPS ボタンを押します。

オープンネットワークの通知を設定する

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「Wi-Fi」
2. 「Wi-Fi」を ON
3. メニューキー→「詳細設定」
4. 「ネットワークの通知」のチェックボックスを ON

Wi-Fi が ON のとき、本機がオープン Wi-Fi ネットワークを検出するとステータスバーに通知が表示されます。通知を OFF にするには、チェックボックスを OFF にします。

Wi-Fi ネットワークを追加する

Wi-Fi ネットワーク名（SSID）を公開しない場合や本機が Wi-Fi ネットワークの範囲外にある場合でも、Wi-Fi ネットワークを追加することができます。

セキュリティで保護されたネットワークに接続するには、あらかじめネットワーク管理者からセキュリティ情報の詳細を入手しておく必要があります。

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「Wi-Fi」
2. 「Wi-Fi」を ON
3. **+**（ネットワークを追加）
4. 「ネットワーク SSID」（名前）を入力
必要に応じて、セキュリティ情報や設定情報を入力します。
5. 「保存」

Wi-Fi ネットワークを切断する

以前に追加した Wi-Fi ネットワーク、自動的に接続させたくないネットワーク、今後使用しないネットワークを切断できます。

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「Wi-Fi」
2. 「Wi-Fi」を ON
3. Wi-Fi ネットワーク名をタップ→「切断」

WPS 方式で接続する

WPS (Wi-Fi 保護設定) 機能により WPS に対応するアクセスポイントに本機を容易に追加できます。

次の方法で本機を無線ネットワークに接続できます。

方法 1：WPS ボタン (推奨)

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「Wi-Fi」
2. 「Wi-Fi」を ON
3. 
4. Wi-Fi ルーターの WPS ボタンを押す
アクセスポイントが本機を認識してネットワークに追加されます。

方法 2：本機の PIN

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「Wi-Fi」
2. 「Wi-Fi」を ON
3. メニューキー→「WPS PIN 入力」
WPS PIN が画面に表示されます。

4. Wi-Fi ルーターで PIN を入力

PIN を入力すると本機は自動的にアクセスポイントを見つけて接続を設定します。

方法 3：アクセスポイントの PIN

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「Wi-Fi」
2. 「Wi-Fi」を ON
3. WPS に対応するアクセスポイントをタップ
WPS に対応するアクセスポイント名の横には  が表示されます。
4. 表示画面で「詳細オプションを表示」のチェックボックスを ON
5. 「アクセスポイントからの WPS PIN」→「有効にする」
6. アクセスポイントの PIN を入力→「接続」
PIN はアクセスポイントの設定ページに表示されています。

Wi-Fi 詳細設定を変更する

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「Wi-Fi」
2. メニューキー→「詳細設定」
次の設定を調整します。
 - ▶ **ネットワークの通知**：Wi-Fi が ON のときにオープンネットワークが利用可能な場合、ステータスバーに通知が表示されます。
 - ▶ **スリープ時に Wi-Fi 接続を維持**：スリープモードのときにも Wi-Fi を ON にするかを設定します。

- ▶ **スキャンを常に実行する**：Wi-Fi が OFF のときにも Google の位置情報サービスと他のアプリケーションでネットワークのスキャンをできるようにします。
- ▶ **接続不良のとき無効にする**：インターネットに接続できる Wi-Fi ネットワークのみを使用するようにします。
- ▶ **Wi-Fi 周波数帯域**：利用する Wi-Fi ネットワークの Wi-Fi 周波数帯域を選択します。
- ▶ **証明書のインストール**：内部ストレージ、外部 SD カードから証明書をインストールします。Wi-Fi ネットワークによってはアクセスする際に適切な証明書が必要です。
- ▶ **Wi-Fi 最適化**：Wi-Fi が ON のときのバッテリー消費を最小限に抑えます。
- ▶ **MAC アドレス**：本機の MAC アドレスを確認できます。
- ▶ **IP アドレス**：本機の IP アドレスを確認できます。

Wi-Fi Direct で接続する

Wi-Fi Direct は、アクセスポイントを経由せずに Wi-Fi 機器同士を接続する機能です。

補足

製造元が異なる機器間では互換性がない場合があります。このような場合は、必要に応じてサードパーティアプリケーションを本機および接続する機器にインストールのうえ、ご利用ください。

Wi-Fi Direct で他の機器と接続する

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「Wi-Fi」
2. 「Wi-Fi」を ON
3. メニューキー→「Wi-Fi Direct」

Wi-Fi Direct で接続できる機器が検索されます。

4. 「ピアデバイス」のデバイス名をタップ

接続先の機器で接続要求を許可してください。両方の機器で共通の PIN が必要な場合があります。

接続が成功すると接続先の機器が「ピアデバイス」リストに「接続済み」として表示されます。

Wi-Fi Direct でデータを送信する

1. 共有したいデータを選択
2. Wi-Fi Direct で共有するためのオプションを選択
アプリケーションやデータの種類により異なる場合があります。
3. 本機と接続済みの機器をタップ、または新しく検索された機器をタップ

Wi-Fi Direct でデータを受信する

Wi-Fi Direct でデータを受信するとステータスバーに通知が表示されます。通知パネルを開いて該当の通知をタップしてから「承諾」を選択すると、データの受信が開始されます。

受信したデータは専用のフォルダ（WiFiShare など）に自動的に保存されます。受信したデータは「ファイル管理」からアクセスできます。

補足

接続を解除するには、「ピアデバイス」リストの接続先の機器をタップ→「接続を解除」をタップします。

Bluetooth で接続する

Bluetooth は近距離無線通信の技術です。スマートフォンなどの Bluetooth 機能を持つ機器間では約 10m 以内の距離で、無線によるデータ通信ができます。通信を実施する前に Bluetooth 機器間でペアリング（接続）が必要です。

Bluetooth 機能を ON / OFF にする

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「Bluetooth」
2. 「Bluetooth」を ON / OFF

「Bluetooth」が ON のときは、ステータスバーに  アイコンが表示されます。

Bluetooth 機能を有効にする

Bluetooth 機能を持つ機器と通信するには、通信先機器が本機を認識できるようにする必要があります。

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「Bluetooth」
2. 「Bluetooth」を ON
3. 画面上のデバイス名をタップ

補足

「Bluetooth」表示のタイムアウトを設定するには、メニューキー→「表示のタイムアウト」をタップしてください。

Bluetooth 機器の登録名を変更する

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「Bluetooth」
2. 「Bluetooth」を ON
3. メニューキー→「端末の名前を変更」
4. デバイス名を変更して「名前を変更」

登録済みの Bluetooth 機器と接続する

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「Bluetooth」
2. 「Bluetooth」を ON
本機は通信範囲内にある Bluetooth 機器を自動的に検索して ID を表示します。画面右上の「デバイスの検索」をタップすると再度検索されます。
3. ペアリングしたい機器をタップ

- 2つの機器のBluetoothパスキーが同じであることを確認して、「ペア設定する」をタップ
または、Bluetoothパスキーを入力して、「ペア設定する」をタップ

通信相手の機器が接続を許可した場合や、入力したパスキーが同じ場合にペアリングが正常に行われます。

補足

ヘッドセットやハンズフリー車載機器など特定の機器では、Bluetoothパスキーが固定されている場合があります。パスキーとして一般的な0000や9999を入力するか、機器の取扱説明書を参照してください。

登録済みのBluetooth機器との接続を解除する

本機からBluetooth機器とのペアリングを解除することができます。再接続するにはパスキーの再入力または再確認が必要な場合があります。

- ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「Bluetooth」
「Bluetooth」がONであることを確認してください。
- ペアリングされた機器のリストで、ペアリングを解除したいBluetooth機器の横の  をタップ
- 「ペアを解除」

Bluetooth でデータを送信する

1. 共有したいデータを選択
2. Bluetooth で共有するためのオプションを選択
アプリケーションやデータの種類により異なる場合があります。
3. 本機とペアリングされている Bluetooth 機器をタップ、または新しく検索された機器をタップ

Bluetooth でデータを受信する

1. Bluetooth でデータを受信する前に「Bluetooth」を ON

補足

本機と送信元機器がペアリングされていないときは、本機の Bluetooth 機能を有効にし、ペアリングしてください。

2. 通知パネルを開き  をタップ
3. 「承諾」

データの受信が開始されます。

受信したデータは専用フォルダ（Bluetooth など）に自動的に保存されますが、SD カードが挿入されている場合は、SD カード内のフォルダに保存されます。保存されたデータには「ファイル管理」からアクセスできます。

パソコンと USB で接続する

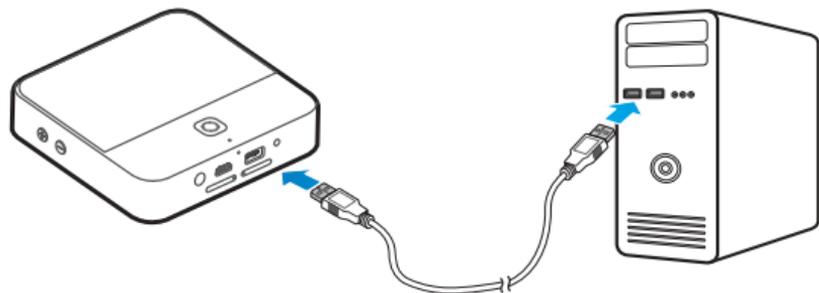
本機を USB ケーブルでパソコンと接続して音楽や写真などのデータを送受信できます。パソコンから受信したデータは本機の内部ストレージまたは SD カードに保存されます。詳しくは「[ストレージ](#)」を参照してください。

（USB ケーブルは製品に同梱されていません。）

USB ケーブルで接続する

1. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続

ケーブルの一方を本機の USB 接続端子に挿入し、他方をパソコンの USB 接続端子に挿入します。



2. 通知パネルを開き「PC に接続」をタップ

「PC に接続」のスイッチが青字表示になります。

補足

パソコンの画面にドライバをインストールするメッセージが表示された場合は、画面の指示に従いインストールを行ってください。また、本機は CD-ROM ドライブとして認識されます。CD-ROM ドライブ内の実行ファイル (Setup.exe) を起動してドライバをインストールできます。

3. ホーム画面で「設定」→「システム」→「デバイス」→「USB モード」→「メディアデバイス (MTP)」

パソコンの画面にウィンドウが表示されます。

接続を解除する

本機とパソコンの接続を解除するときは、USB ケーブルを取り外します。

SD カードのマウントを解除する

本機から SD カードを取り外すときは、SD カードのマウントを解除する必要があります。

1. 本機がパソコンに接続している場合は接続を解除
2. ホーム画面で「設定」→「システム」→「デバイス」→「ストレージ」
3. 「SD カードのマウント解除」→「OK」
「SD カードのマウント解除」が「SD カードをマウント」に変わります。
4. SD カードを取り外す

補足

SD カードのマウントを解除すると、使用中だったアプリケーションが動作を停止し、SD カードを再度マウントするまで使用できない場合があります。

SD カードのデータを消去する

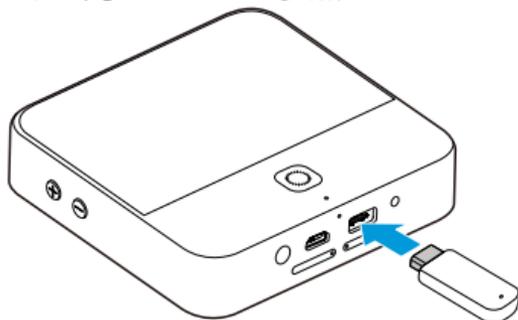
1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「デバイス」→「ストレージ」
2. 「外部 SD カードを消去」→「SD カード内のデータを消去」→「すべて消去」

! 注意

「すべて消去」で消去したデータは復旧することができません。

USB デバイスを接続する

USB フラッシュドライブやポータブルハードディスクドライブなどの USB デバイスを本機の USB 接続端子に接続したあと、USB デバイス内のデータを参照することができます。



1. 通知パネルを開き、 (USB 機器に接続) の青字表示を確認
2. USB デバイスを本機の USB 接続端子に接続
3. ホーム画面で「アプリ」→「ファイル管理」→「USB デバイス」

補足

USB を取り外すときは、通知パネルを開き、 → 「OK」をタップしてください。マウント解除されたら、USB を取り外すことができます。

注意

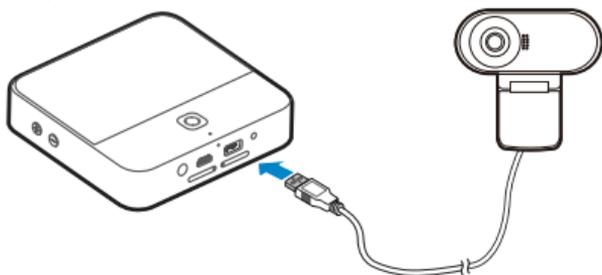
USB をマウント解除する前に「USB 機器に接続」を無効、「PC に接続」を有効にしないでください。本機と USB の接続が切れて、USB 内のデータが破損または消去されることがあります。

ビデオカメラと接続する

ビデオカメラを本機の USB 接続端子に接続すると、ビデオチャットアプリケーションを使用したテレビ電話が利用できません。

補足

アプリケーションの種類やバージョンによっては使用できないことがあります。



1. 通知パネルを開き、 (USB 機器に接続) の青字表示を確認
2. ビデオカメラを本機の USB 接続端子に接続
3. ビデオチャットアプリケーションを開いてテレビ電話をかける

モバイル Wi-Fi ルーターとして使用する

本機では USB 接続・Bluetooth 接続・Wi-Fi 接続の 3 種類のテザリングに対応しています。

USB で接続する

USB テザリング機能で、パソコンからインターネット接続ができます。

補足

USB テザリング中は本機とパソコン間でデータの送受信ができません。

1. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続
2. 通知パネルを開き、 (PC に接続) の青字表示を確認
3. ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「その他 ...」
4. 「USB テザリング」のチェックボックスを ON
パソコンとモバイルネットワークが接続されます。

補足

接続を停止するには、「USB テザリング」のチェックボックスを OFF にするか、USB ケーブルを取り外します。

Bluetooth で接続する

お使いのパソコンが Bluetooth 経由でインターネットと接続できる場合は、本機の設定によりパソコンからモバイルデータ接続ができます。

1. 本機とパソコンを Bluetooth でペアリング
2. パソコンを Bluetooth 経由でネットワーク接続ができるように設定
詳細はお使いのパソコンの取扱説明書を参照してください。
3. ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「その他 ...」
4. 「Bluetooth テザリング」のチェックボックスを ON
本機とパソコンのモバイルデータ接続ができるようになります。

補足

モバイルデータ接続を停止するには、「Bluetooth テザリング」のチェックボックスを OFF にします。

LAN Wi-Fi で接続する

本機は、モバイル Wi-Fi ルーターとして、他の機器（パソコン、スマートフォン、ゲーム機など）と無線接続できます。この無線接続を「LAN Wi-Fi」と呼びます。

補足

LAN Wi-Fi を有効にすると、本機での Wi-Fi（アクセスポイントへの接続、Wi-Fi Direct）が利用できなくなり、モバイルデータ通信によるインターネット接続のみとなります。

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「LAN Wi-Fi」
2. 「LAN Wi-Fi」を ON
3. 外部機器と Wi-Fi で本機を接続

外部機器が Wi-Fi 保護設定（WPS）に対応している場合は、外部機器の WPS アイコンをタップしてから、本機の  をタップしてください。

補足

LAN Wi-Fi を解除するには、「LAN Wi-Fi」を OFF にします。

LAN Wi-Fi を設定する

Wi-Fi アクセスポイント名 (SSID) の変更やパスワードによる保護設定ができます。

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「LAN Wi-Fi」
2. 「設定」→オプションを設定
 - ▶ **ネットワーク SSID**：ネットワーク SSID を入力または編集します。このネットワーク SSID は他の機器が Wi-Fi ネットワークを検索したときに表示されます。
 - ▶ **パスワードを表示する**：このオプションを ON にすると「パスワード」欄のパスワードが表示されます。
 - ▶ **チャンネル**：他の Wi-Fi ネットワークとの干渉を防ぐために異なるチャンネルを使用してください。
 - ▶ **セキュリティ**：セキュリティオプションは、「なし」（推奨しません）または「WPA2 PSK」（正しいパスワードを入力した場合のみ Wi-Fi 接続できる）を選択します。「WPA2 PSK」を選択した場合は、「パスワード」をタップしてセキュリティパスワードを入力してください。
 - ▶ **ブロードキャストネットワーク名 (SSID)**：このオプションを ON にするとネットワーク SSID が公開されます。ブロードキャストが OFF のときは、ネットワークが非公開となり、接続可能なネットワークとして表示されません。
3. 「保存」

仮想プライベートネットワーク (VPN) で接続する

仮想プライベートネットワーク (VPN) によりセキュリティで保護されたローカルネットワーク内のリソースにアクセスできます。VPN は外部から、または、無線ネットワークに接続しているときにローカルネットワークのリソースにアクセスできるようにする機能です。

使用している VPN によっては、VPN に接続するためにログイン認証情報の入力やセキュリティ証明書のインストールが必要です。

VPN を追加する

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「その他 ...」→「VPN」
2. **+** → ネットワーク管理者から入手した情報を入力
3. 「保存」

追加した VPN が VPN 画面に表示されます。

補足

VPN を使用する前に画面ロックをパターン、PIN またはパスワードに設定する必要があります。

VPN に接続する

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「その他 ...」
→「VPN」
2. 接続したいVPN をタップ
3. システムの要求に応じて認証情報を入力→「接続」

VPN を変更する

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「その他 ...」
→「VPN」
2. 修正したいVPN をロングタッチ
3. 「プロフィールを編集」→VPN の設定を編集
4. 「保存」

アカウント

アカウントの追加と削除をする

複数の Google アカウントを追加できます。本機にインストールされているアプリケーションに対応したアカウントも追加できます。

アカウントを追加する

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「デバイス」→「アカウントを追加」
2. 追加したいアカウントの種類をタップ
3. 画面の指示に従いアカウント情報を入力
ほとんどのアカウントでは、ユーザー名とパスワードが必要です。その他についてはアカウントにより異なります。アカウントが正しく追加されると「設定」メニューの「アカウント」に表示されます。

アカウントを削除する

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「デバイス」
2. 「アカウント」のアカウントカテゴリをタップ→削除するアカウントをタップ
3. メニューキー→「アカウントを削除」→「アカウントを削除」

アカウントと同期の設定をする

自動で同期する

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「データ使用」
2.  → 「データの自動同期」のチェックボックスを ON
 - ▶ 自動同期を ON にすると、情報が更新されたときに自動的に同期されます。
 - ▶ 自動同期を OFF にすると、メールやアプリケーションアップデートなどの更新情報を入手するために手動での同期が必要になります。

手動で同期する

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「デバイス」
2. 「アカウント」のアカウントカテゴリをタップ→同期したいアカウントをタップ
3.  → 「今すぐ同期」、または、同期したい情報の種類をタップ

アカウントの同期設定を変更する

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「デバイス」
2. 「アカウント」のアカウントカテゴリをタップ→アカウントをタップ
「同期」画面が表示され、該当アカウントの同期対象情報のリストが表示されます。

3. 各項目のチェックボックスを ON または OFF

チェックボックスを ON にした項目は自動的に同期されます。

Gmail（メール）

本機で Google アカウントにログインすると、Gmail アプリケーションでメールを送受信できるようになります。

受信したメールを確認する

ホーム画面で「アプリ」→「Gmail」をタップして、メイン画面を開きます。メールアドレスを登録していない場合は、メールアドレスを登録してください。初めて開いたときは、新機能の紹介が表示されます。

画面を下にフリックするとメイン画面が更新されてメールがダウンロードされます。

アカウントを切り替える

Gmail では 1 つのアカウントに関する会話、メッセージ、設定が表示されます。複数のアカウントでログインしている場合はアカウントを切り替えることにより各アカウントの情報を閲覧できます。

1. メイン画面で  →現在のアカウントをタップ
2. 参照したいアカウントをタップ
変更したアカウントのメイン画面が開きます。

メールを作成／送信する

1. メイン画面を開いてメールを送信したいアカウントを開く
2. 

3. 「To」フィールドに宛先名または電子メールアドレスを入力

2 番目以降の各宛先の前ではスペースキーをタップします。

4. 電子メールの件名と本文を入力

5. ファイルを添付するには → 「ファイルを添付」

6. 画面右上の

メールに返信／転送する

1. 返信または転送したいメールを開く

2. 必要に応じていずれかを実施

- ▶ 送信者に返信するには  をタップします。
- ▶ 送信者と宛先の全員に返信するには  → 「全員に返信」をタップします。
- ▶ メールを転送するには  をタップします。

3. メールを編集して

添付ファイルについて

添付ファイルがある場合は、添付ファイルの種類、本機にインストールされているアプリケーション、設定に応じて、添付ファイルのプレビュー、表示、保存ができます。

ラベルを利用する

ラベルには、ユーザーが作成するものと、送信済み、スター付き、送信トレイなどのデフォルトのラベルがあります。メールにスターやラベルを付けて整理できます。ラベルを付けることにより、フォルダに分けるのと同じようにメールを仕分けることができます。

ラベルを付ける、変更する

1. Gmail を開き、リストからラベルを付けたいメールの送信者アイコンをタップ



2. 画面右上で、☰ → 「ラベルを変更」
3. 開いた画面でラベルのチェックボックスを ON または OFF → 「OK」

補足

チェックボックスが表示されないときは、メイン画面で  → 現在のアカウントをタップ → 「設定」 → 現在のアカウントをタップ → 「受信トレイの種類」 → 「優先トレイ」で表示されます。

スターを付ける

1. Gmail を開き、リストからスターを付けたいメールの送信者アイコンをタップ
2. 画面右上で、 → 「スターを付ける」

ラベルごとにメールを表示する

1. Gmail を開き、 → アカウントをタップ
2. 「すべてのラベル」の下のラベルを1つタップ

Gmail の設定を変更する

メイン画面で  → 「設定」をタップして設定を変更します。「全般設定」はすべての Gmail アカウントに適用され、その他の設定は特定のアカウントのみに適用されます。

Google マップ

位置情報サービスを設定する

Google マップで現在地を確認するなど位置情報関連のアプリケーションを使用するには、本機の位置情報サービスを ON にします。

1. ホーム画面で「設定」→「システム」→「一般」→「位置情報アクセス」
2. 「位置情報アクセス」を ON

現在地を表示する

1. ホーム画面で「アプリ」→「マップ」
2.  地図が丸印（現在地）を中心に表示されます。

場所を検索する

1. ホーム画面で「アプリ」→「マップ」
2. 画面上部の検索ボックスをタップ
3. 検索ボックスに住所、検索したい企業、施設の種類などを
入力

検索ボックスの下に候補が表示されたら、目的の候補をタップして検索します。

 **補足**

 をタップして音声で検索することもできます。

4. キーボードの検索キーをタップ

検索結果のリストが表示されます。戻るキーをタップして検索結果をマップ上に赤い点で表示できます。

5. 検索結果リスト内の項目をタップして詳細を表示

マップ上の赤い点をタップするとその地点の概要のカードが下に表示されます。下のカードを左または右にフリックして検索結果の情報を見ることもできます。

カードを上フリックすると、詳細や道順などのオプションが表示されます。

ナビを利用する

マップ上に徒歩、公共交通機関、自動車の道順を表示できます。

1. ホーム画面で「アプリ」→「マップ」

2.

3. 移動手段を選択→出発点と目的地を入力

現在地がわかっているときは、その地点が出発点フィールドにデフォルトで入力されます。

4. 道順候補のリストで1つをタップ→マップ上に表示

下のカードを左または右にフリックしてその他の道順を選択することができます。

下のカードを上フリックするとリスト内の詳細な道順が表示されます。

付近の便利な情報を取得する

Google マップで付近にある企業や施設を検索できます。それらの場所を評価したりおすすめ情報を表示できます。

1. ホーム画面で「アプリ」→「マップ」

2. マップ上で該当エリアを表示

付近のエリアを調べたり、マップを別の場所に移動したりすることもできます。

3. 検索ボックスをタップ

4. 「周辺のスポット」→表示された画面で 1 つを選択

結果がカードに表示されます。

5. 表示された場所の 1 つをタップ

マップ上に  が表示されます。また、道順を表示することもできます。

カードをフリックして、住所、Web サイト、ストリートビューなど詳しい情報を表示できます。また、情報を Google アカウントに保存したり、他の人と共有したりできます。

Google 検索

Google 検索を使用して Web や本機内の情報を検索できます。

文字入力で情報を検索する

文字入力で Web や本機内の情報（音楽、アプリ、連絡先など）を検索できます。

1. ホーム画面で「アプリ」→「Google」
2. 検索ボックスに文言を入力→キーボードの検索キーまたは検索文言の候補をタップ

音声で情報を検索する（音声検索）

音声で Web 検索や特定のタスクを実行できます。

1. ホーム画面で「アプリ」→「Google」
2.  をタップ、または「OK、Google」と話す



補足

ホーム画面で「アプリ」→「音声検索」でも検索できます。

3. 検索したい文言や質問の内容を話す
話し終わるとその内容が分析されて検索が開始されます。

検索の設定を変更する

Google アプリを開き、メニューキー→「設定」をタップします。アカウントとプライバシーの設定、検索言語の設定、音声の設定、端末内検索の設定、NOW カードの設定ができます。

ギャラリー

ギャラリーフォルダを開く

ホーム画面で「アプリ」→「ギャラリー」をタップして、静止画や動画のアルバムを閲覧できます。

アルバムを利用する

「ギャラリー」を開くと複数のアルバムにある静止画や動画がすべて表示されます。

アルバムの内容を見る

アルバムをタップして、静止画や動画を表示します。

アルバム、静止画、動画を共有する

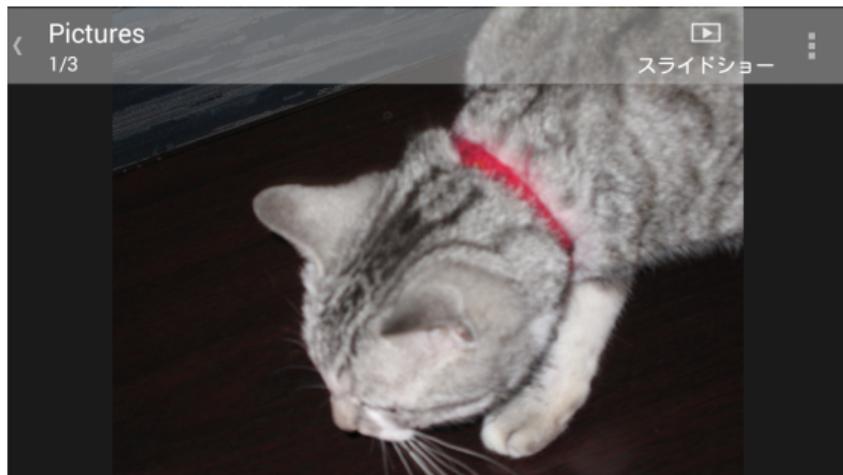
1. アルバム、または、アルバムを開いて静止画や動画をロングタッチ
2. 共有したい他の項目をタップ
3. 「共有」→共有の方法を選択

アルバムを削除する

1. アルバムをロングタッチ
2. 削除したい他のアルバムをタップ
3. 「削除」→「OK」

静止画を見る

静止画をタップして全画面で表示できます。全画面で静止画を表示しているときは以下の機能を使用できます。



- 水平にフリックして他の静止画や動画を閲覧できます。
- 静止画や動画をピンチして縮小します。縮小すると、すべての静止画と動画がフィルム形式で一列に表示されます。左右にフリックするとすべての静止画と動画を閲覧できます。

補足

フィルム形式で表示された静止画や動画を上か下にフリックすると削除できます。誤って削除した場合は、「元に戻す」をタップして元に戻せます。

ギャラリー

- 静止画を2回タップ、または、ピンチでズームアウト、ズームインできます。
- メニューキーで静止画の回転、削除、共有、印刷、名前の変更ができます。また、ファイルの詳細情報の確認、ロック画面の壁紙に設定（登録）、スライドショー設定の変更ができます。
- 「スライドショー」をタップしてアルバムの内容をスライドショーで閲覧できます。
- アルバムに戻るには戻るキーをタップします。

補足

アルバムや静止画によっては使用できないオプションもあります。

動画を見る

1. 「ギャラリー」のアルバムをタップ→動画のサムネイルをタップ
2.  →動画プレイヤーを選択
動画の画面をタップすると操作のボタンが表示されます。

音楽

Play ミュージックアプリケーション  で、Google Play ミュージックと Google のオンラインミュージックストアやストリーミングサービスが利用できます。Wi-Fi のストリーミングで、Google Play ミュージックライブラリに追加して好みの音楽を聴くことができます。またパソコンから本機に直接コピーした音楽データを再生することもできます。

補足

地域によって Google Play ミュージックが利用できない場合があります。利用できない場合、または Wi-Fi 接続されていない場合は、本機に保存されている音楽のみ再生できます。

本機に音楽をコピーする

Play ミュージックを使用する前に、音楽データを本機にコピーまたはダウンロードします。

パソコンからコピーする

1. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続
2. 通知パネルを開き「PC に接続」をタップ
「PC に接続」のスイッチが青字表示になります。
3. 通知パネルで  (接続モード) をタップ→「メディアデバイス (MTP)」
「USB ケーブルで接続する」を参照してください。
4. パソコンで音楽データを本機にコピー

インターネットからダウンロードする

Web ページを閲覧中に音楽データをダウンロードできます。

Bluetooth で受信する

他の機器から Bluetooth で音楽データを受信できます。
「Bluetooth でデータを受信する」を参照してください。

Wi-Fi Direct で受信する

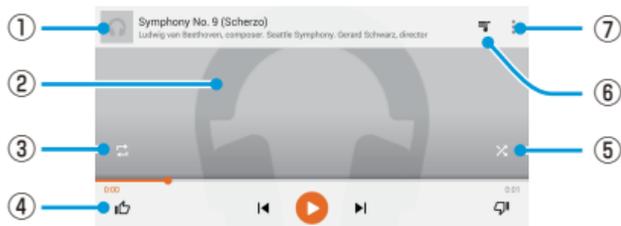
他の機器から Wi-Fi Direct で音楽データを受信できます。
「Wi-Fi Direct でデータを受信する」を参照してください。

保存している音楽を再生する

ホーム画面で「アプリ」→「Play ミュージック」をタップして、表示に従いオンラインミュージックライブラリにアクセスするためのアカウントを選択します。

このアプリケーションは、オンラインライブラリと本機内の音楽とプレイリストを検索して、まとめてミュージックライブラリとして表示します。ミュージックライブラリは「ジャンル」、「アーティスト」、「アルバム」、「曲」により整理して表示されます。☰ → 「マイライブラリ」 → 「プレイリスト」をタップして、すべての音楽とプレイリストを表示できます。ライブラリのビューを変更するには左または右にフリックします。

音楽をタップすると再生されます。再生中に画面下の概要情報をタップすると操作画面が表示されます。



番号	機能
①	音楽とアーティストの情報が表示されます。タップ、または下にドラッグすると、ミュージックライブラリに戻ります。
②	アルバムのイラストが表示されます（ある場合）。左右にフリックするとプレイリスト内の前後の音楽に切り替わります。
③	リピート再生を行います。
④	操作ボタンが表示されます。音楽のスキップ、一時停止と再生、音楽に「評価（好き）」と「評価（嫌い）」を付けます。進行状況バーをドラッグすると再生中の任意の時点に移動できます。
⑤	シャッフル再生をします。
⑥	タップすると現在のプレイリスト（再生待ちリスト）が表示されます。
⑦	他のオプションが表示されます。

操作画面が表示されていないときでも音楽の再生を操作できます。

音楽

- Play ミュージックアプリのミュージックライブラリで画面下の概要情報をタップし、操作画面を再表示します。
- 他のアプリケーションを使用中に通知パネルを下にフリックします。音楽のタイトルをタップすると操作画面が再表示されます。再生を一時停止／再開、スキップできます。
- 画面がロックされているときは、音楽情報、アルバムのカバー、操作ボタンが画面上部に表示されます。再生を一時停止／再開、スキップできます。

プレイリストを管理する

プレイリストで音楽データをグループ分けして、お好みの順番で音楽を再生できます。

プレイリストの作成と音楽を追加する

音楽の横の  をタップして「プレイリストに追加」を選択します。その後は、画面の指示に従って「新しいプレイリスト」を作成してください。作成したプレイリストに音楽が追加されません。

プレイリストから音楽を削除する

1. Play ミュージックアプリで  → 「マイライブラリ」 → 音楽を削除するプレイリストを開く
2. 削除する音楽の 
3. 「プレイリストから削除」

プレイリストを削除する

1. Play ミュージックアプリで  → 「マイライブラリ」
2. 削除するプレイリストの 
3. 「削除」 → 「OK」

補足

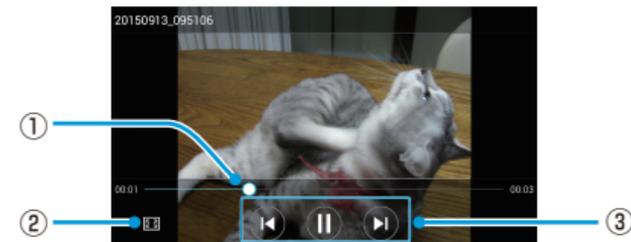
自動的に作成されたプレイリストには「最近追加」など削除できないものもあります。

動画

ホーム画面で「アプリ」→「動画」をタップして動画ライブラリを表示し、さまざまな動画を再生できます。

動画の再生について

動画ライブラリの動画をタップするとその動画が再生されます。次のような動画再生画面が表示されます。



番号	機能
①	進行状況バーをドラッグすると再生中の任意の時点に移動できます。動画上を水平にフリックして早戻しや早送りができます。
②	動画の切り抜き、または画面内に合わせるができます。
③	一時停止、再開をします。また、前後の動画にスキップします。

補足

画面の右側または左側を縦にフリックすると動画の明るさ、音量を調整できます。

動画を管理する

動画を削除する

1. 動画をロングタッチ
2. 「削除」 → 「OK」

動画を仕分ける

1. 動画ライブラリでメニューキー → 「並べ替え」
2. 「名前」、「サイズ」、「タイプ」、「時刻」 を選択 → 動画を並べ替え

補足

動画ライブラリでメニューキー → 「設定」 をタップして動画プレイヤーの設定をすることもできます。

音声レコーダー

音声レコーダーで音声メモを録音して、いつでも聞くことができます。

1. ホーム画面で「アプリ」→「音声レコーダー」

2.  → 録音を開始

録音中に次の操作ができます。

- ▶  または  をタップすると録音が一時的に停止または再開します。
- ▶  → 「はい」で録音をキャンセルできます。

3. 

録音が止まります。音声メモは自動的に保存されます。 をタップすると再生できます。また右上の「共有」または「削除」で録音の共有、削除ができます。

補足

画面右上の「録音データ」をタップするとすべての音声メモが表示されます。音声メモをロングタッチして、名前の変更、共有、削除ができます。

その他のアプリケーション

ソフトウェアの更新

本機のソフトウェアの状態をチェックしてアップデートします。

❗ 注意

- 更新が完了するまで、本機は使用できません。ソフトウェア更新には時間がかかることがあります。
- 電波状況のよい所で、移動せずに操作してください。また、バッテリーの残量が十分ある状態で操作してください。更新途中で電波状態が悪くなったり、バッテリーの残量がなくなると、更新に失敗することがあります。更新に失敗すると本機が使用できなくなることがあります。
- ソフトウェア更新中は、ほかの機能を操作できません。

✎ 補足

本機の状況（故障・破損・水漏れなど）によっては、保存されているデータが破棄されることがあります。必要なデータは、ソフトウェア更新前にバックアップしておくことをおすすめします。なお、データが消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

1. ホーム画面で「アプリ」→「システムアップデート」
2. 「オンラインアップデート」→「OK」

Chrome を利用する

ホーム画面で「アプリ」→「Chrome」をタップしてインターネットの閲覧ができます。本機の Chrome のブックマーク、閲覧履歴、タブの使用を Google アカウントと同期することができます。同期することにより、本機、スマートフォン、パソコン、タブレット端末などの機器で Chrome を同じ状態で使用できます。

Dolby を利用する

ホーム画面で「アプリ」→「Dolby」をタップして Dolby プロファイルを選択、または、カスタマイズできます。 をタップすると Dolby が OFF になります。

ダウンロードを利用する

ダウンロードアプリにより Chrome や Gmail などダウンロードしたファイルの履歴が記録されます。

ホーム画面で「アプリ」→「ダウンロード」をタップして記録を確認できます。

- ファイルをタップすると対応するアプリケーションでファイルが開きます。
- ファイルをロングタッチしてファイルを削除、共有することができます。

ドライブを利用する

ホーム画面で「アプリ」→「ドライブ」をタップして Google アカウントにログインしておくと、ドライブアプリを使用して Google サーバーにファイルを無料で保存できます。保存したファイルはパソコンやスマートフォンなどの機器からアクセスできます。また他の人と共有したり共同作業したりできます。

ファイル管理を利用する

内部ストレージ、SD カード、接続した USB に保存されている画像、動画、音声などのファイルにアクセスすることができます。

ホーム画面で「アプリ」→「ファイル管理」をタップして、必要なファイルを「カテゴリ」でカテゴリ別に見つけることができます。また「本体」、「SD カード」、「USB デバイス」で内部ストレージ、SD カード、USB のフォルダやファイルを参照できます。

- フォルダやファイルをタップして参照できます。
-  → 「項目を選択」→複数のフォルダ／ファイルを選択して  (コピー)、 (移動)、 (共有)、 (削除) などのアイコンを使用できます。
- フォルダ／ファイルをコピー、移動するには別の場所に移動してから「貼付け」をタップします。
-  をタップすると現在のディレクトリに新しいフォルダを追加できます。

Google+ を利用する

ホーム画面で「アプリ」→「Google+」で Google アカウントにログインしておく、アプリケーションを使用して友達や家族とつながることができます。

Google+ でサークルを設定し、コンテンツを共有するグループを作ることができます。グループやチャットのハングアウトの作成、写真や動画のアップロードなどができます。

ハングアウトを利用する

ホーム画面で「アプリ」→「ハングアウト」で利用できます。文字、写真、動画でチャットをする友達どうしの簡単なグループを作成できます。

オフィスソフトを利用する

ホーム画面で「アプリ」→「WPS Office」で利用できます。本機で Word、Excel、PowerPoint、テキストファイルの閲覧と作成、PDF ファイルの閲覧ができます。

YouTube を利用する

ホーム画面で「アプリ」→「YouTube」で利用できます。動画を再生できます。また、自分の動画を友達や家族、世界の人と共有できます。

Netflix を利用する

ホーム画面で「おすすめ」→「Netflix」から起動できます。世界 50 か国、会員数 6500 万人以上を誇る世界最大級のオンラインストリーミングです。お気に入りの映画やドラマをパソコン、スマートテレビ、タブレット、スマートフォン、その他インターネットに接続されたデバイスで体験できます。

パ・リーグ LIVE を利用する

ホーム画面で「おすすめ」→「パ・LIVE」から起動できます。パ・リーグ球団主催試合（セ・パ交流戦、クライマックスシリーズ含む）が完全生中継で楽しめるサービスです。試合開始から終了まで余すことなくスマホでご覧いただけます。

アニメ放題を利用する

ホーム画面で「おすすめ」→「アニメ放題」から起動できます。テレビで放映中の最新作アニメから懐かしのあの名作アニメまで、充実のラインナップが全部見放題です。

スマートピを利用する

ホーム画面で「おすすめ」→「スマートピ」から起動できます。気軽にニュースやエンタメ情報を動画や文字で見ることができ、情報料無料のサービスです。重要ニュースやスポーツ、エンタメ、芸能情報、ここでしか見られない特別コンテンツ等、毎日 100 本以上を提供中です。

ブック放題を利用する

ホーム画面で「おすすめ」→「ブック放題」から起動できます。週刊誌やファッション誌などの人気雑誌130誌以上と、1,000作品以上の人気マンガが読み放題のサービスです。

Google Play ストア

ホーム画面で「アプリ」→「Play ストア」で利用できます。音楽、本、映画、アプリケーションを購入、レンタルして本機にダウンロードできます。

アプリを検索する

アプリケーションをカテゴリ別に参照できます。「ゲーム」などの最上位のカテゴリをタップして任意のサブカテゴリのアプリケーションをタップしてください。

アプリケーションの名前、説明、開発者名などからも検索できます。検索ボックスをタップして検索の文言を入力します。

アプリをインストールする

閲覧中や検索中に興味を引くアプリケーションを見つけたときに、タップして詳細画面を開くと、詳しい情報が表示されます。

1. 「インストール」（無料アプリの場合）または価格（有料アプリの場合）をタップ

有料アプリの場合、Google ウォレットアカウントにログインして支払い方法を選択します。

! 注意

一度インストールすると、多くの機能や多量の個人データにアクセスするアプリケーションがあります。Google Play ストアにはアプリケーションが何にアクセスする可能性があるかが記載されています。内容を確認して、許可する場合は「同意する」、キャンセルする場合は戻るキーをタップします。

2. アプリケーションがダウンロードされ、自動的にインストール

有料アプリケーションの場合はダウンロードの前に支払いを承認します。

アプリケーションが正常にインストールされるとステータスバーに通知アイコンが表示されます。ホーム画面で「アプリ」をタップすると新しいアプリケーションが表示されています。

Google アカウントを利用する

Google Play ストアのアプリケーションを購入するには Google ウォレットアカウントを Google アカウントと対応付けする必要があります。

次のいずれかを実施してください。

- パソコンから wallet.google.com にアクセスして Google ウォレットアカウントを作成します。
- 本機ではじめて Google Play ストアから購入するときは、支払い情報を入力し、Google ウォレットアカウントを作成します。

警告！

Google Play ストアでアプリケーションを購入するために Google ウォレットを一度使用すると、本機はパスワードを記憶して次回から入力が不要になります。他人が許可なしに本機を使用できないようにセキュリティの設定をしてください。

ダウンロードしたアプリを管理する

ダウンロードしてインストールしたアプリケーションは、アプリケーションの評価をしたり、他のアプリケーションと一緒にリストに表示したり、自動更新などの設定をすることができます。

ダウンロードしたアプリを表示する

1. Google Play ストア画面で ☰ → 「マイアプリ」
2. インストールされたアプリケーションのリストが表示
リストの項目をタップして評価、アンインストール、返金要求など
ができます。

アプリのアンインストール

1. Google Play ストア画面で ☰ → 「マイアプリ」
2. アプリケーションをタップ
3. 「アンインストール」 → 「OK」

その他の端末設定

ホーム画面で「設定」→「システム」または「プロジェクター」をタップします。本機のカスタマイズに関するツールが設定オプションに含まれています。

ネットワーク接続について

LAN Wi-Fi

本機のモバイルデータ接続を Wi-Fi 経由で使用できます。「[LAN Wi-Fi で接続する](#)」を参照してください。

機内モード

ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「機内モード」の ON / OFF スイッチで ON または OFF にします。機内モードを ON にすると、本機のすべてのデータ通信電波が停止します。

Wi-Fi

Wi-Fi を ON または OFF にします。また、Wi-Fi 接続の設定ができます。「[Wi-Fi で接続する](#)」を参照してください。

Wi-Fi が ON のときに「Wi-Fi」メニューでメニューキー→「Wi-Fi Direct」をタップすると、2つの機器間で直接データを共有できます。「[Wi-Fi Direct で接続する](#)」を参照してください。

Bluetooth

「Bluetooth」を ON または OFF にします。また、Bluetooth 接続の設定ができます。「[Bluetooth で接続する](#)」を参照してください。

モバイルネットワーク

モバイルデータ使用量の管理、優先ネットワークタイプの選択、アクセスポイント名の確認ができます。「[モバイルネットワークで接続する](#)」を参照してください。

データ使用

「ON / OFF」スイッチを使用してモバイルデータを ON または OFF にできます。

設定した時間内でのデータ使用量のチェック、モバイルデータの上限と警告の設定、モバイルデータを使用したアプリケーションの確認、データローミングの許可、各アプリケーションのバックグラウンドデータの規制ができます。

補足

- 本機で計測されたデータ使用量とサービスプロバイダーによるデータ使用量は一致しない場合があります。
-  → 「モバイルアクセスポイント」をタップして、モバイルアクセスポイントの Wi-Fi ネットワークを選択してください。高額なモバイルデータ料金を防ぐために、モバイルアクセスポイントでのデータ使用を規制できます。

VPN

ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「その他 ...」→「VPN」をタップして、プライベートネットワークの設定と接続ができます。「[仮想プライベートネットワーク \(VPN\) で接続する](#)」を参照してください。

USB テザリングと Bluetooth テザリング

ホーム画面で「設定」→「システム」→「接続」→「その他 ...」→「USB テザリング」のチェックボックスまたは「Bluetooth テザリング」のチェックボックスを ON にすると、本機のモバイルデータ接続をパソコンなどの機器から USB や Bluetooth 経由で使用できます。「[USB で接続する](#)」または「[Bluetooth で接続する](#)」を参照してください。

デバイス

音

音量の調整（「[音量の調整](#)」を参照）、マナーモードの ON / OFF 設定（「[マナーモードの設定](#)」を参照）、通知音の設定（「[通知音の設定](#)」を参照）、高音質のための Dolby 効果の設定、システムサウンドの選択ができます。

ディスプレイ

- **明るさ**：画面の明るさを設定します。
- **壁紙**：ロック画面の背景画像を選択します。
- **画面の自動回転**：オプションを ON にすると、本機の向きに応じて画面表示を自動的に回転します。自動回転しないアプリケーションがあります。

その他の端末設定

- **スリープ**：操作していないときに画面が自動的に OFF になるまでの時間を設定します。
- **フォントサイズ**：画面上の文字のフォントサイズを設定します。
- **光を点滅させて通知**：新着の Gmail など、情報の受信を知らせるために通知ランプが点滅します。
- **タッチキーライト消灯時間**：本機能によりタッチキー（ホームキー、戻るキー、メニューキー）のバックライトを制御できます。次のオプションを選択してバックライトの持続時間を設定してください。
 - ▶ **自動**：タッチキーのバックライトが自動的に ON または OFF になります。
 - ▶ **2 秒 / 5 秒**：画面かタッチキーをタップすると、タッチキーが 2 秒間または 5 秒間明るくなります。
 - ▶ **常に ON**：タッチキーのバックライトが常に ON になります。
 - ▶ **常に OFF**：タッチキーのバックライトが OFF になります。
- **ワイヤレスディスプレイ**：ワイヤレスディスプレイに対応したテレビに接続して、本機の画面を無線でテレビに投写します。あらかじめ Wi-Fi を ON にしておく必要があります。詳細は、テレビの取扱説明書を参照してください。
- **電源ボタンのランプ**：このオプションを ON にすると電源ボタンのランプが ON になります。

ストレージ

内部ストレージ、SD カード、USB のメモリ情報をチェックします。

ダウンロードファイルや音声録音などのデフォルトの保存場所を選択できます。「位置情報を保存」→「本体」または「SD カード」を選択して、データの保存場所として内部ストレージかSDカードを指定します。

「SD カードのマウント解除」をタップしてSDカードのマウントを解除することで、本機に電源が入っているときでも安全にSDカードを取り外せます。「外部SDカードを消去」をタップするとSDカードのデータがすべて消去されます。

バッテリー

バッテリーの残量やバッテリーが何で消費されたかをチェックします。

アプリケーションをタップして設定を変更することでバッテリーの寿命を延ばすことができます。

USB モード

本機を USB やパソコンに接続するときに USB 接続タイプを選択します。「USB ケーブルで接続する」および「USB デバイスを接続する」を参照してください。

アカウント

アカウントとの同期を管理します。本機にログインする、または、アカウントを作成するには、「アカウントを追加」をタップします。

アカウントの項目をタップして、追加したアカウントの確認とアカウント設定の変更ができます。

一般

アプリ

本機にインストールされたアプリケーションの確認と管理をします。

「ダウンロード済み」、「実行中」、「すべて」のアプリケーションをタップして情報を確認できます。アプリケーションの停止、アンインストール、データとキャッシュの消去ができます。

補足

アンインストールできないアプリケーションがあります。

位置情報アクセス

位置情報アクセスを有効にすると現在地がわかります。「[位置情報サービスを設定する](#)」を参照してください。

セキュリティ

- **画面のロック**：長押し、パターン、PIN、パスワードにより画面ロックを有効または無効にします。「[画面のロック](#)」を参照してください。
- **パターンを表示する**：描画中のパターンを表示します。このオプションはパターンを設定している場合に有効です。
- **自動ロック**：画面がロックされるまでの時間を設定します。パターン、PIN、パスワードを設定している場合に使用できます。
- **電源ボタンですぐにロックする**：電源ボタンを押すとすぐにロックされます。パターン、PIN、パスワードを設定している場合に使用できます。
- **所有者情報**：ロック画面に表示する文言を入力します。
- **端末の暗号化**：プライバシー保護のために本機のデータを暗号化します。「[暗号化](#)」を参照してください。
- **SIM カードロック設定**：
 - ▶ **SIM カードをロック**：SIM PIN ロックを有効にして、USIM カードへのアクセスに SIM PIN を入力するようにします。
 - ▶ **SIM PIN の変更**：USIM カードへアクセスする SIM PIN を変更します。
- **パスワードを表示する**：入力中のパスワードを表示します。
- **端末管理者**：デバイス管理者として承認したアプリケーションを表示または無効化します。
- **提供元不明のアプリ**：Google Play ストア以外から入手したアプリケーションをインストールするとき ON にします。

- **アプリを確認する**：危険なアプリケーションをインストールしようとしたときに、インストールを禁止、または、警告を表示します。
- **ストレージのタイプ**：証明書のストレージの種類を確認します。
- **信頼できる認証情報**：信頼できる CA 証明書を表示します。
- **SD カードからインストール**：証明書を SD カードからインストールします。
- **認証ストレージの消去**：すべての証明書を削除します。

バックアップとリセット

- **データのバックアップ**：Google アカウントにログインすると、アプリデータや Wi-Fi パスワードなどの設定を Google サーバーにバックアップできます。
- **バックアップアカウント**：バックアップ先の Google アカウントを設定します。
- **自動復元**：アプリケーションを再インストールするときに、以前にバックアップした設定とデータを復元します。
- **データの初期化**：本機の設定を出荷時の状態にリセットします。本機の内部ストレージの個人データは消去されます。また、SD カード内のデータも消去できます。

言語と入力

- **言語**：本機で使用する言語を選択します。
- **スペルチェック**：Android スペルチェッカーで入力した文字のスペルをチェックします。
- **ユーザー辞書**：本機の辞書に新しい単語を追加したり設定済みの単語を削除したりできます。追加した単語はスペルチェックや推奨単語として使用されます。
- **キーボードと入力方法**：文字入力設定をします。[「入力言語を設定する」](#)を参照してください。
- **音声検索**：
 - ▶ **言語**：音声で文字入力や検索をするときの言語を設定します。
 - ▶ **「OK Google」の検出**：この設定を ON にしておくと、Google アプリケーションの使用中、音声で検索や指示をするときに「OK Google」と話すことで実行できます。
 - ▶ **音声出力**：音声を出すときの条件を設定します。
 - ▶ **オフラインの音声認識**：追加の言語パッケージをダウンロードして、ネットワークと切断したときに音声認識として使用できます。
 - ▶ **不適切な語句をブロック**：Google 音声入力を使用した文字変換で不適切な結果を表示しないようにします。
 - ▶ **Bluetooth ヘッドセット**：Bluetooth ヘッドセットが本機に接続されているときに音声入力を録音します。

- **テキスト読み上げの出力：**
 - ▶ **優先するエンジン：**使用する音声合成エンジンの選択や音声合成エンジンの設定を行います。
 - ▶ **音声の速度：**音声合成エンジンの音声の読み上げ速度を選択します。
 - ▶ **サンプルを再生：**音声合成エンジンの短いサンプルを再生します。
 - ▶ **デフォルトの言語のステータス：**文字から音声への変換機能が現在の言語をサポートするかを確認できます。
- **ポインタの速度：**トラックパッドやマウスを接続したときのポインタ／マウスの移動速度を選択します。

日付と時刻

日付、時刻、タイムゾーン、および日付と時刻の表示形式を設定します。ネットワークから入手したデータを使用することもできます。

ユーザー補助

弱視のユーザーのために音声で応答する TalkBack などのユーザー補助を設定します。

印刷

Google クラウドプリントサービス、Google Play ストアやプリンターの製造元からインストールしたプリンターを管理できます。

端末情報

端末の状態、法的情報、その他の情報が表示されます。

プロジェクターの設定

ホーム画面で「設定」→「プロジェクター」をタップして、プロジェクター機能に関する設定ができます。

- **画像：**
 - ▶ **フォーカス：**「自動」を ON または OFF にするか、「+」と「-」で「手動」で調整します。
 - ▶ **台形補正：**台形補正の「自動」を ON または OFF にするか、斜めに投写する場合に手動で映像を調整します。
 - ▶ **明るさ：**プロジェクターの明るさを調整します。
 - ▶ **色補正：**プロジェクターの色調を調整します。
- **モード：**
 - ▶ **外部入力：**プロジェクターの外部入力として HDMI、または、Miracast を ON にします。
 - ▶ **LABB：**周辺明度ブースト (LABB) 機能を ON または OFF にするか、レベルを調整します。プロジェクター投写時は、平均レベルより暗い部分の映像が明るく調整されます。
 - ▶ **CAIC：**映像調整付き照明制御 (CAIC) 機能を ON または OFF にします。プロジェクターの照明強度の自動調整により、バッテリーの消費を抑え、映像の明るさを一定に保ちます。

- **コントロール：**

- ▶ **プロジェクター：**プロジェクターを ON / OFF にします。
- ▶ **ジェスチャースイッチ：**この機能を有効にすると、画面が開いているときに画面上を 3 本の指で上か下にフリックしてプロジェクターを ON または OFF にできます。
- ▶ **リモコン：**この機能を有効にすると、リモコンアプリを使用して Android または iOS 端末で本機をコントロールできます。「[リモコン設定](#)」を参照してください。
- ▶ **目の保護：**この機能は、投写中に本機を急に動かしたときでも、反射光による眩しさなどを防止するために、プロジェクターの明るさを自動的に抑える機能です。
- ▶ **オートプロジェクター：**設定した時間にプロジェクターの電源が自動的に ON / OFF になるようにします。
- ▶ **復元：**デフォルトのプロジェクター設定に復元します。

困ったときは

トラブルシューティング

本機を使用中に問題や異常が発生したら次の表を参照してください。表に記載の解決策で問題が解決しない場合は、「お問い合わせ先一覧」にご連絡ください。

問題	考えられる原因	考えられる解決策
通信不良	本機が地下または高層ビルの近くなど、電波が届きにくい場所にあるため、ネットワーク信号が弱過ぎる。	ネットワーク信号を十分に受信できる場所に移動してください。
	現在ネットワークがビジーになっている（ピーク時やネットワークトラフィックが多すぎる場合など）。	このような時間帯を避けて本機を使用していただくか、少し時間をおいてから使用してください。
	基地局から遠すぎる。	サービスエリアの地図を入手することができます。
バッテリーを充電できない、またはバッテリーの充電速度が遅い	バッテリーまたは AC アダプタが故障している。	「お問い合わせ先一覧」に連絡してください。
	本機の温度が氷点下になっているか 45℃を超えている。	充電環境を確認して極端な温度を避けて使用してください。
	本機と AC アダプタの接触が悪い。	すべてのコネクタが確実に接続されていることを確認してください。

問題	考えられる原因	考えられる解決策
待受時間が短い	信号が弱い。	一時的に電源を切ってください。
	バッテリーが消耗している。高温の環境ではバッテリーの寿命が短くなる。	「お問い合わせ先一覧」に連絡してバッテリーを交換してください。
	ネットワークに接続できない場合、本機は基地局を見つけようとして信号を送信し続ける。そのためバッテリーを消費して待受時間が短くなる。	ネットワークにアクセスできる場所へ移動してください。または一時的に本機の電源を切ってください。
本機に電源が入らない	バッテリー残量がない。	充電してください。
USIM カードのエラー	USIM カードが故障または破損している。	ソフトバンクショップでUSIM カードの確認をしてください。
	USIM カードが正しく挿入されていない。	USIM カードを正しく挿入してください。
	USIM カードの接続箇所にごミがある。	柔らかく乾いた布でUSIM カードの接続箇所を拭いてください。
ネットワークに接続できない	USIM カードが無効である。	「お問い合わせ先一覧」に連絡してください。
	ネットワークのサービスエリア内にいない。	「お問い合わせ先一覧」に連絡してサービスエリアを確認してください。
	信号が弱い。	広い場所へ移動してください。屋内の場合は窓の近くに移動してください。

問題	考えられる原因	考えられる解決策
SIM PIN コードがブロックされた	誤った SIM PIN コードを3回続けて入力した。	「お問い合わせ先一覧」に連絡してください。USIM カードの PUK コードがわかる場合は、PUK コードを使用して USIM カードのロックを解除してください。
Wi-Fi 信号が弱い	現在の場所で Wi-Fi ネットワーク信号が弱すぎる。	LAN Wi-Fi のアクセスポイントに近い場所、またはアクセスポイントと本機の間には障害物が無い場所に移動してください。
本機がクラッシュ、再起動、フリーズする。または電源が入らない	本機と互換性のないサードパーティソフトウェアがインストールされている。	問題の原因の可能性のあるソフトウェアをアンインストールしてください。
		本機のソフトウェアをアップデートしてください。
		本機を出荷時の状態にリセットしてください。

仕様

本体

項目		説明
質量		約 579 g
内蔵電池容量		6300mAh
メモリ	SDRAM / NAND	2GB / 16GB
	MicroSDXC / SD	2 ~ 64GB / 2.0 Class 6
連続待受時間 ^{*1}		約 300 時間
連続投写時間 ^{*2}	メモリ内コン テンツの連続 投写	約 180 分
	ストリーミン グコンテンツ の連続投写	約 120 分
充電時間 ^{*3}		AC アダプタ [ZEDAZ1] 約 150 分
サイズ (幅×高さ×奥行き)		134 × 131 × 33.3mm
通信速度 ^{*4}	SoftBank 4G	下り最大 110Mbps 上り最大 10Mbps
	SoftBank 4G LTE	下り最大 112.5Mbps 上り最大 37.5Mbps
ディスプレイ部 分	種類	TFT
	サイズ	約 5 インチ
	解像度 (ピクセル数)	横 1280 ピクセル×縦 720 ピクセル HD

項目		説明
プロジェクター	画像サイズ	120 インチ
	解像度 (ピクセル数)	横 1280 ピクセル×縦 720 ピクセル HD (HDMI の最大解像度：1080p)
	アスペクト比	16：9
対応 OS		Windows Vista / Windows 7 / Windows 8、 Mac OS 10.6 以降
使用環境 ^{*5}	温度	-5 ~ 45℃ (推奨 5 ~ 35℃)
	湿度	5 ~ 90%

- ※ 1 連続待受時間とは、日本国内において電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。使用状況によりご利用時間は異なります。
- ※ 2 連続投写時間は、十分に充電されたバッテリーで本機を使用したときの平均的な投写時間です。使用状況により投写時間は異なります。
- ※ 3 充電時間は、本機の電源を切って AC アダプタを使って充電した場合の数値です。
- ※ 4 回線の混雑状況や通信環境により、通信速度が低下、または通信できなくなる場合があります。また、ご利用地域によって通信速度が異なります。
- ※ 5 下記に注意してご利用ください。
- 風通しのよい場所でご使用ください。
 - 適正な周囲温度でご使用ください。
 - 高温の環境で使用しないでください。

保証とアフターサービス

保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

！ 注意

- 本機の故障、誤作動または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な連絡先などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（連絡先／音楽／静止画／動画など）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

困ったときは

アフターサービスについて

修理を依頼される場合、「[お問い合わせ先一覧](#)」または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

補足

アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのソフトバンクショップまたは「[お問い合わせ先一覧](#)」までご連絡ください。

困ったときは

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ソフトバンクカスタマーサポート

- 総合案内
ソフトバンク携帯電話から 157 (無料)
一般電話から ☎ 0800-919-0157 (無料)
- 紛失・故障受付
ソフトバンク携帯電話から 113 (無料)
一般電話から ☎ 0800-919-0113 (無料)
IP 電話などでフリーコールが繋がらない場合は、恐れ入りますが下記の番号へおかけください。

東日本地域	022-380-4380 (有料)
東海地域	052-388-2002 (有料)
関西地域	06-7669-0180 (有料)
中国・四国・九州・沖縄地域	092-687-0010 (有料)

スマートフォンテクニカルサポートセンター

端末の操作案内はこちら

- ソフトバンク携帯電話から 151 (無料)
一般電話から ☎ 0800-1700-151 (無料)

ソフトバンク国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡
+81-92-687-0025
(有料、ソフトバンク携帯電話からは無料)

発売元：ソフトバンク株式会社
製造元：ZTE コーポレーション
2015年10月 第1版